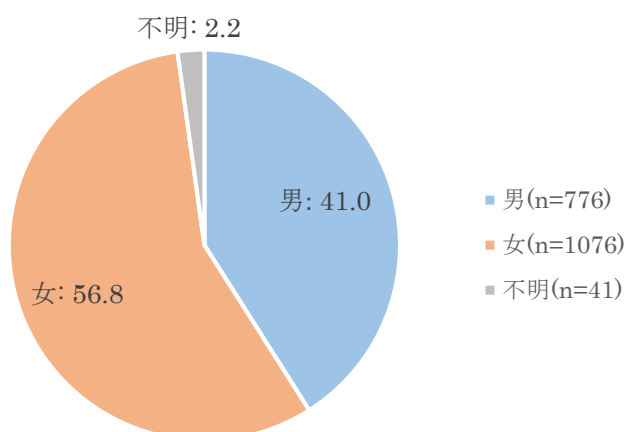


第 2 章 調査結果の分析(1.回答者の属性)

(1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(SA)

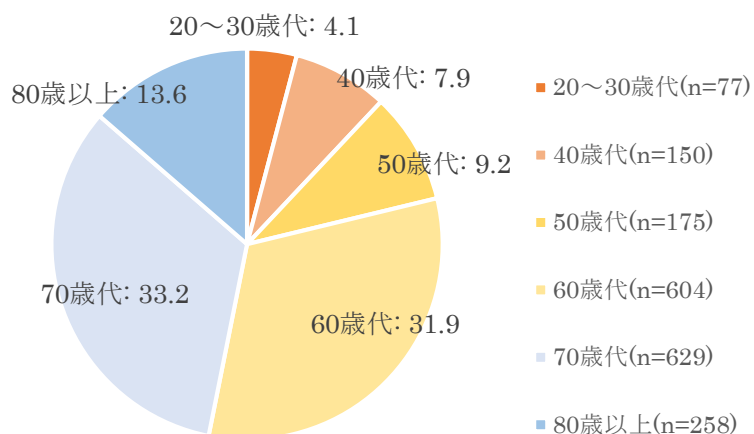
回答者の性別は、女性が56.8%、男性が41%であった。



(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(SA)

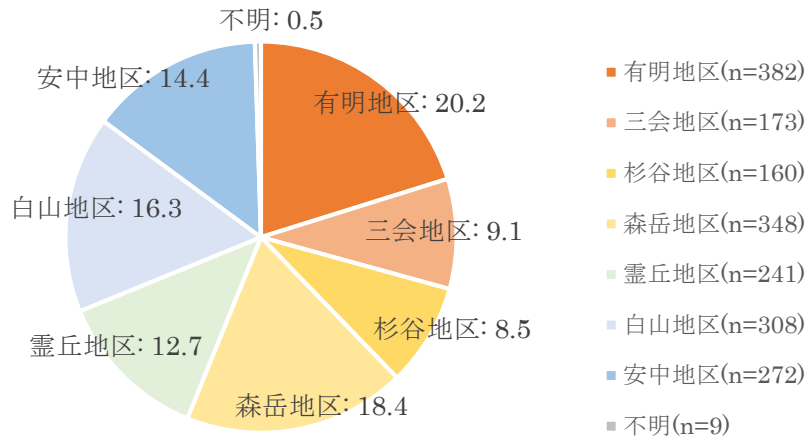
回答者の年代は、「70歳代」が33.2%で最も多く、「60歳代」が31.9%と続いている。



(3) 居住地

問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。(SA)

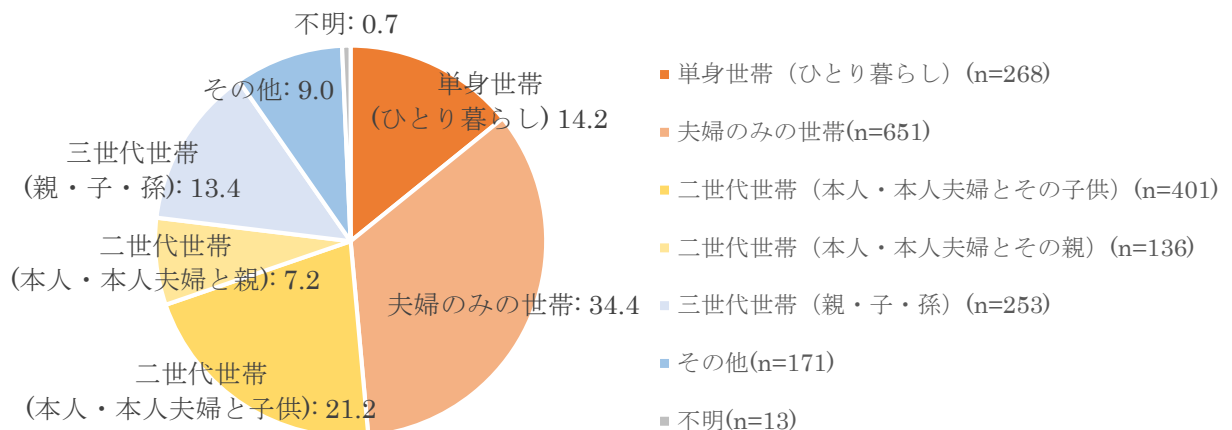
回答者の居住地は「有明地区」が20.2%で最も多く、次いで「森岳地区」(18.4%)、「白山地区」(16.3%)、「安中地区」(14.4%)となっている。



(4) 家族構成

問4 あなたの家族構成をお答えください。(SA)

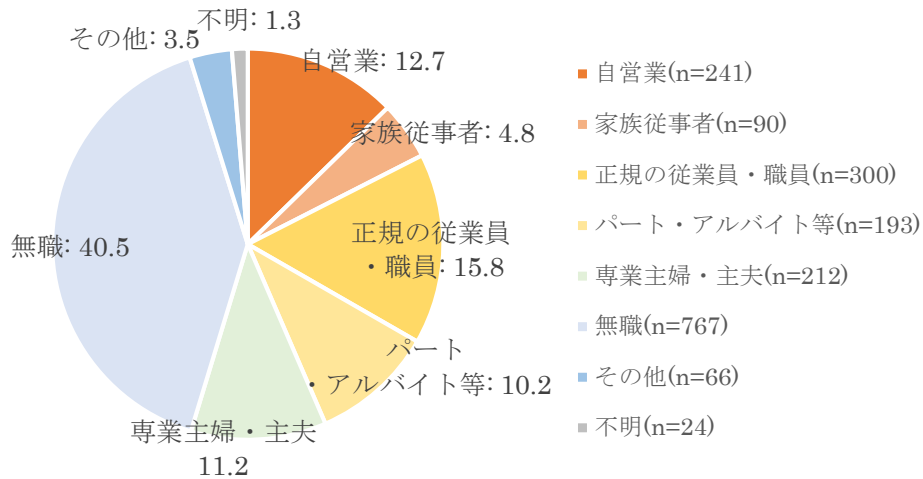
回答者の家族構成は、「夫婦のみの世帯」が34.4%で最も多く、次いで「二世帯世帯（本人・本人夫婦と子供）」(21.2%)、「単身世帯（ひとり暮らし）」(14.2%)、「三世帯世帯（親・子・孫）」(13.4%)となっている。



(5) 職業や現在の状態

問5 あなたの職業や現在の状態をお答えください。(SA)

回答者の職業や現在の状態は、「無職」が40.5%で最も高く、次いで「正規の従業員・職員」(15.8%)、「自営業」(12.7%)、「専業主婦・主夫」(11.2%)となっている。



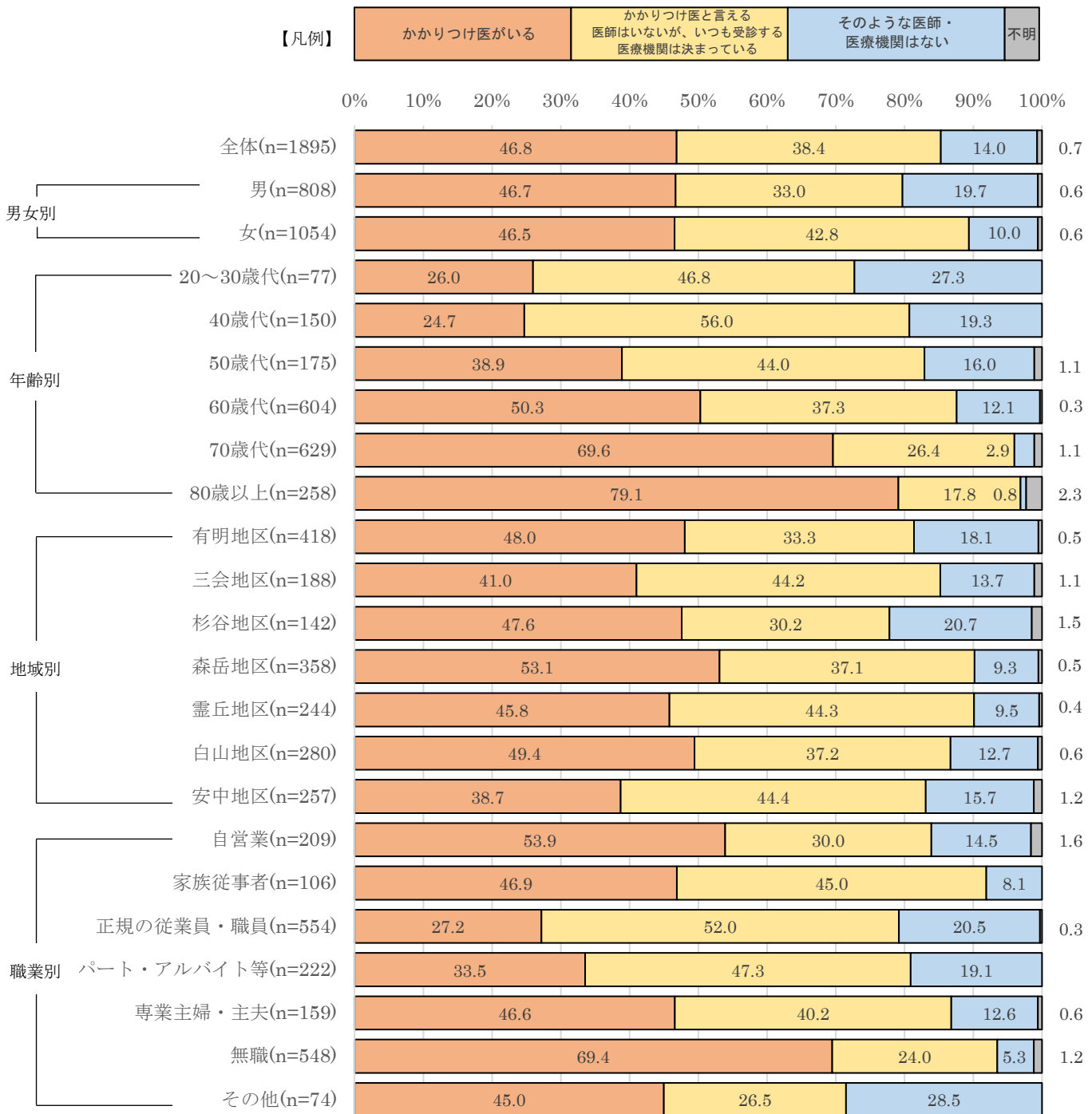
第 2 章 調査結果の分析(2.医療・介護について)

(1) 健康状態や病気のことを気軽に相談できる医師の有無

問6 あなたは健康状態や病気のことを気軽に相談できる医師（かかりつけ医）がいますか。（SA）

健康状態や病気のことを気軽に相談できる医師の有無を全体で見ると、「かかりつけ医がいる」「かかりつけ医と言える医師はいないが、いつも受診する医療機関は決まっている」と回答した割合は85.2%となった。

40歳代から年齢を重ねるにつれて「かかりつけ医がいる」と回答した割合が増加傾向にあった。

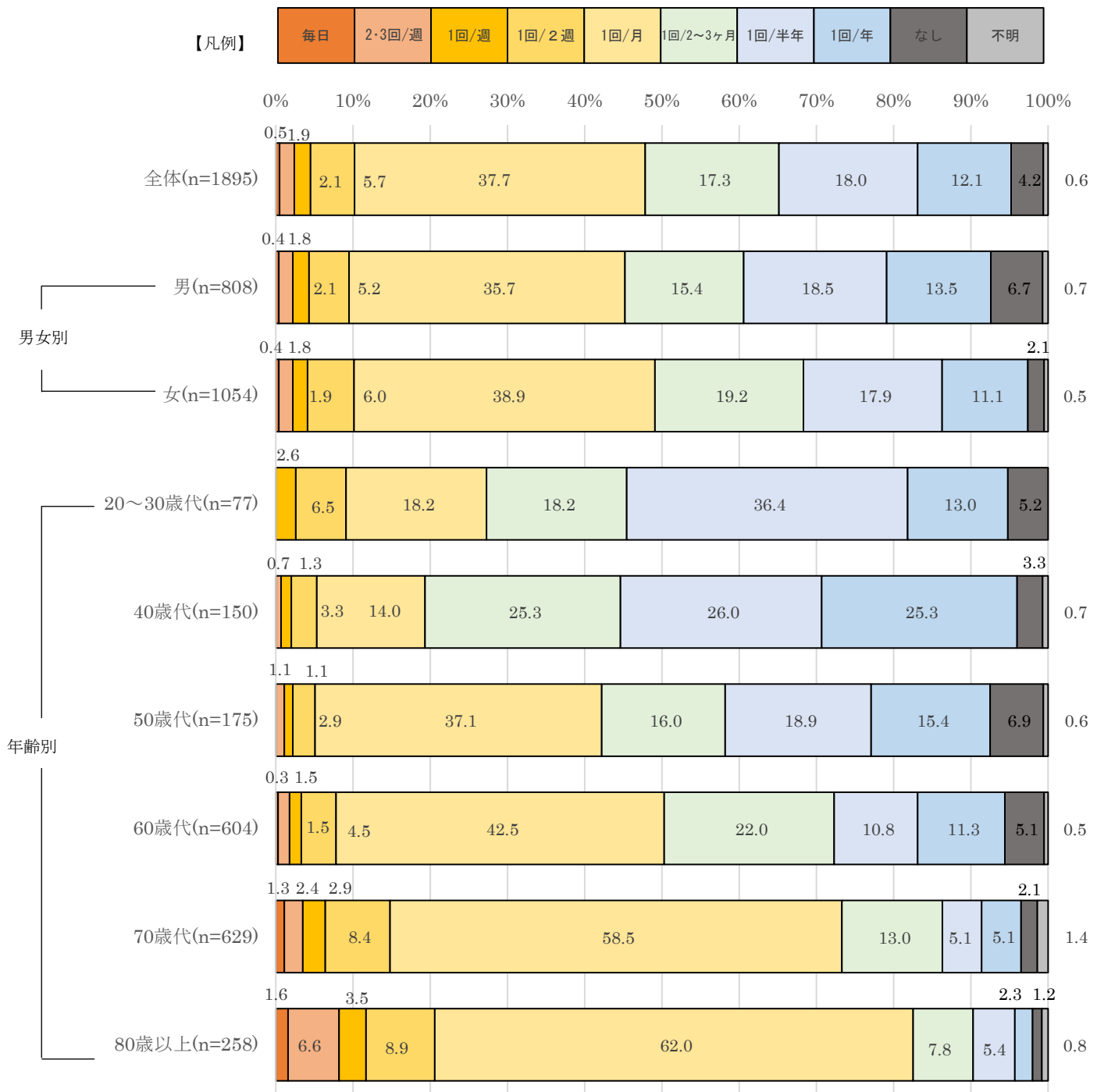


(2) -①過去1年間における医療機関の受診状況(性別・年齢)

問7 あなたはここ1年間でどのくらい医療機関を受診(健康診断を含む)しましたか。(SA)

過去1年間における医療機関の受診状況を全体で見ると、「月に1回程度」「2～3ヶ月に1回程度」と回答した割合は55%となった。

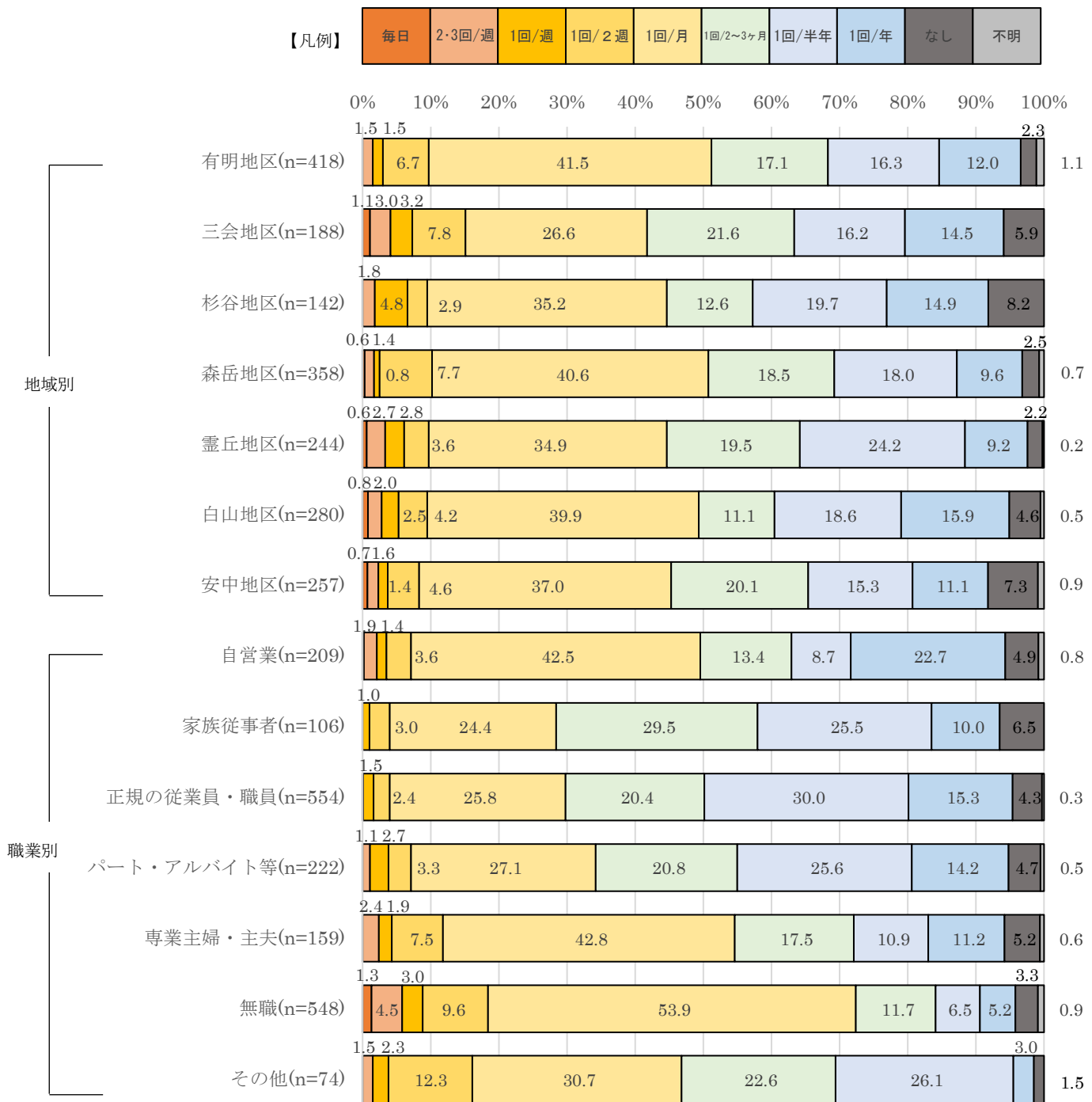
40歳代から年齢を重ねるにつれて、「月に1回程度」の受診する割合が増加傾向にあった。



(2) -②過去1年間における医療機関の受診状況（居住地域・職業）

問7 あなたはここ1年間でどのくらい医療機関を受診（健康診断を含む）しましたか。（SA）

過去1年間における医療機関の受診状況の地域差は小さく、「月に1回程度」が最も高い割合となった。職業別では、「無職」が他職業と比較して、「月に1回程度」受診していると回答した割合が高い結果となった。

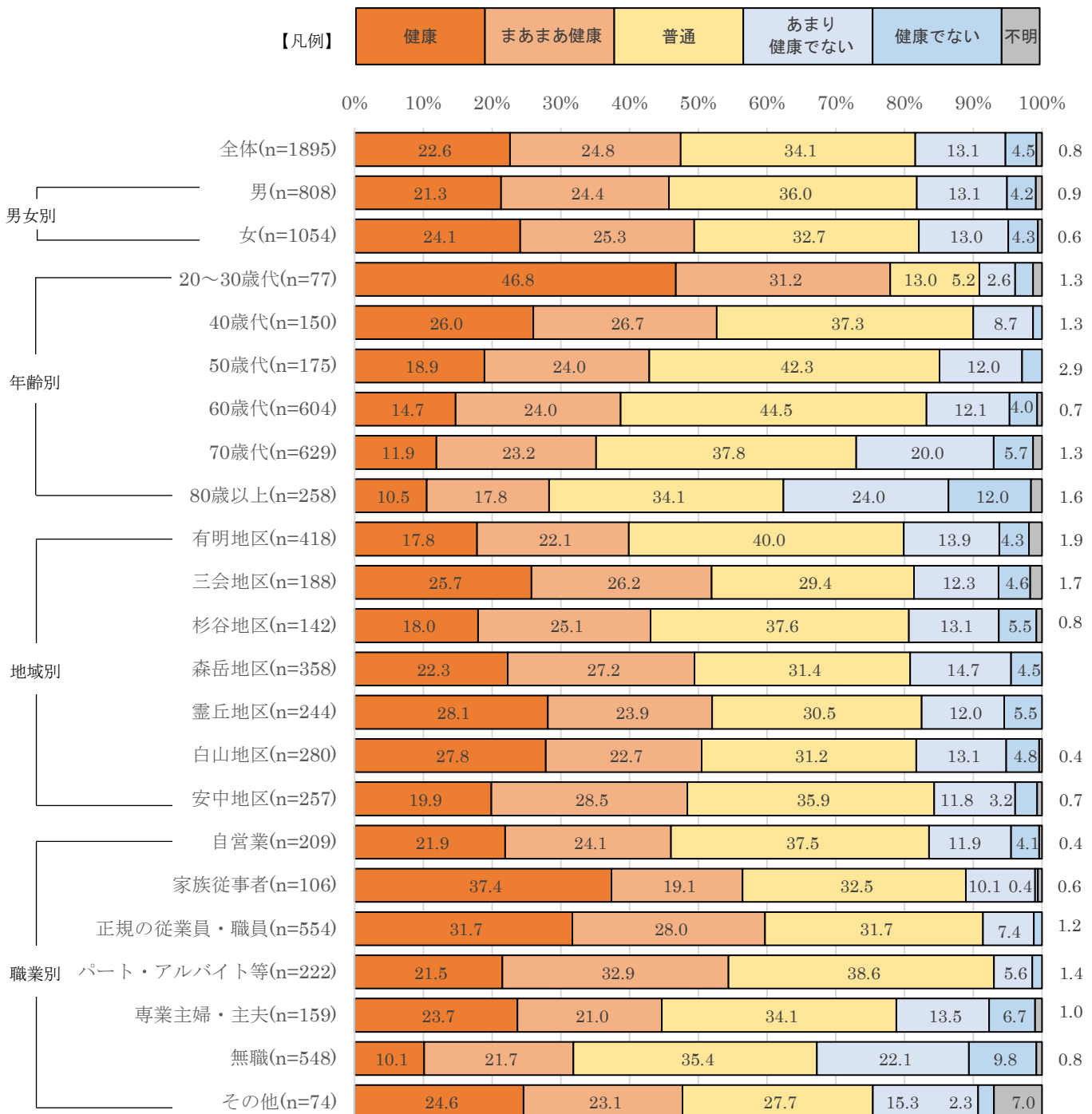


(3) 現在の健康状態

問8 あなたの現在の健康状態をお答えください (SA)

現在の健康状態を全体で見ると、「健康」、「まあまあ健康」と回答した割合は47.4%となった。

属性別に見ると男女別では「女性」、年齢別では「20～30歳代」、職業別では「正規の従業員・職員」が最も高い割合となった。年齢別に比較すると、「20歳代」から年齢を重ねるにつれて「健康」、「まあまあ健康」と回答した割合は減少傾向にあった。

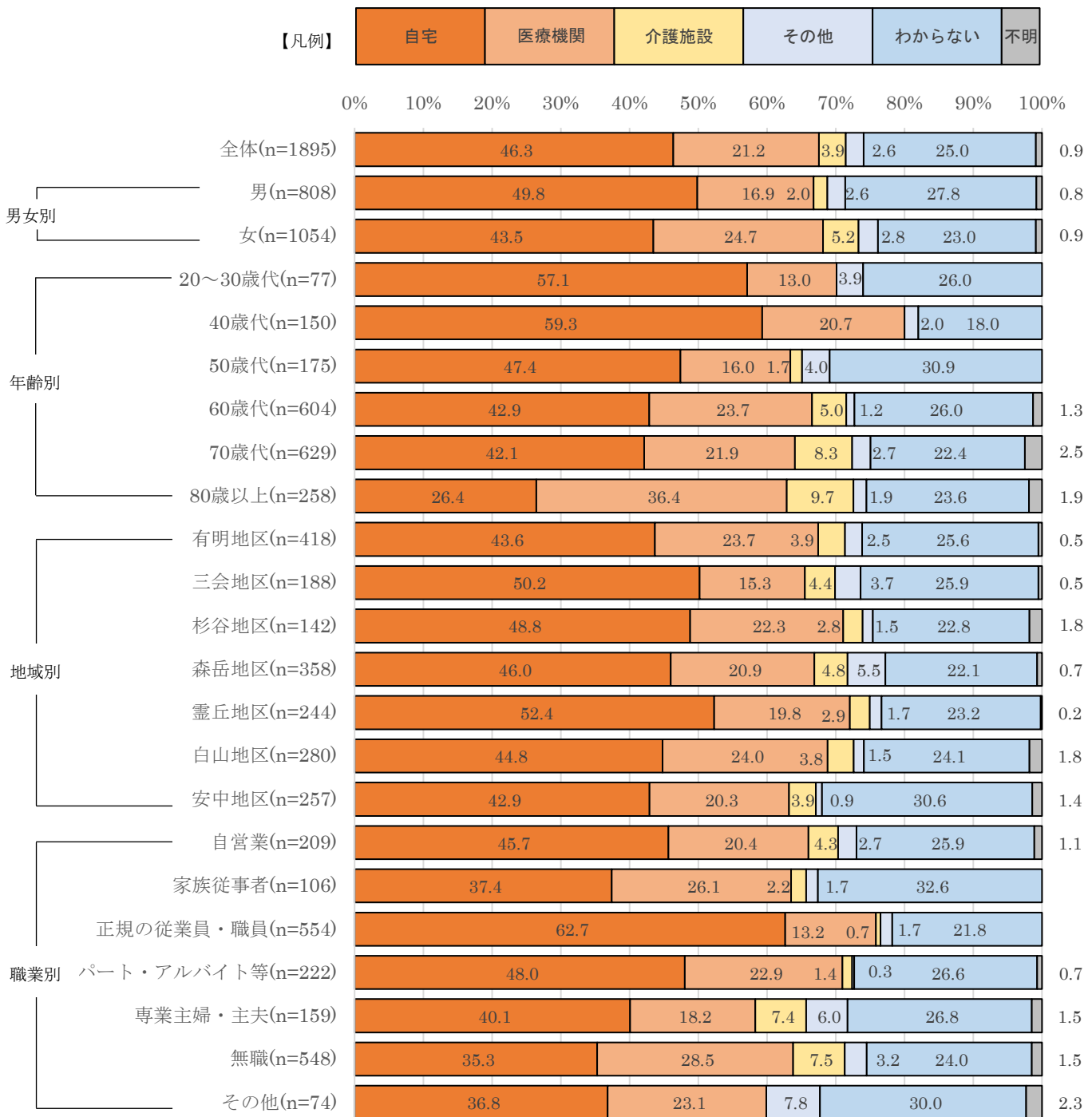


(4) 長期間の療養であなたが過ごしたい場所

問9 あなたが病気などで長期間の療養が必要になった場合、どこで過ごしたいですか。(SA)

長期間の療養で過ごしたい場所を全体で見ると、「自宅」と回答した割合が最も高く 46.3%を占め、「わからない」と回答した割合が 25%を占めた。

年齢別に比較すると、若い世代(20～30歳代、40歳代)は「自宅」と回答した割合は、過半数以上を占めているが、年齢を重ねるにつれて、「医療機関」、「介護施設」と回答した割合が増加傾向にあった。

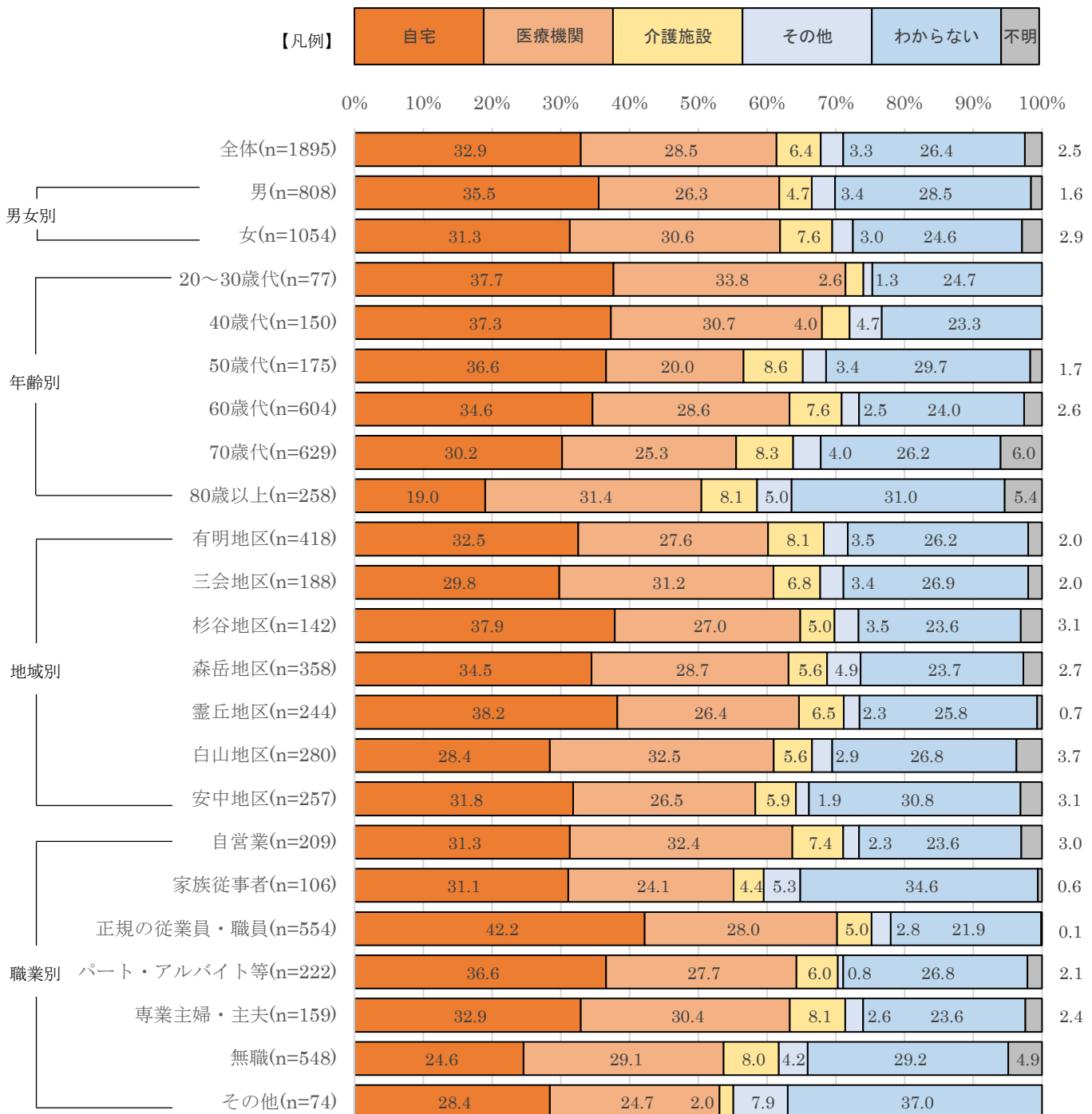


(5) 長期間の療養で家族を過ごさせたい場所

問10 あなたの家族が、病気などで長期間の療養が必要になった場合、どこで過ごさせたいですか。(SA)

長期間の療養で家族を過ごさせたい場所を全体で見ると、「自宅」と回答した割合は最も高く32.9%となった。

長期間の療養で「自分」が過ごしたい場所は「自宅」が約半数を占めたが、「家族」を過ごさせたい場所では「自宅」、「医療機関」、「わからない」がそれぞれ約3割を占める結果となった。

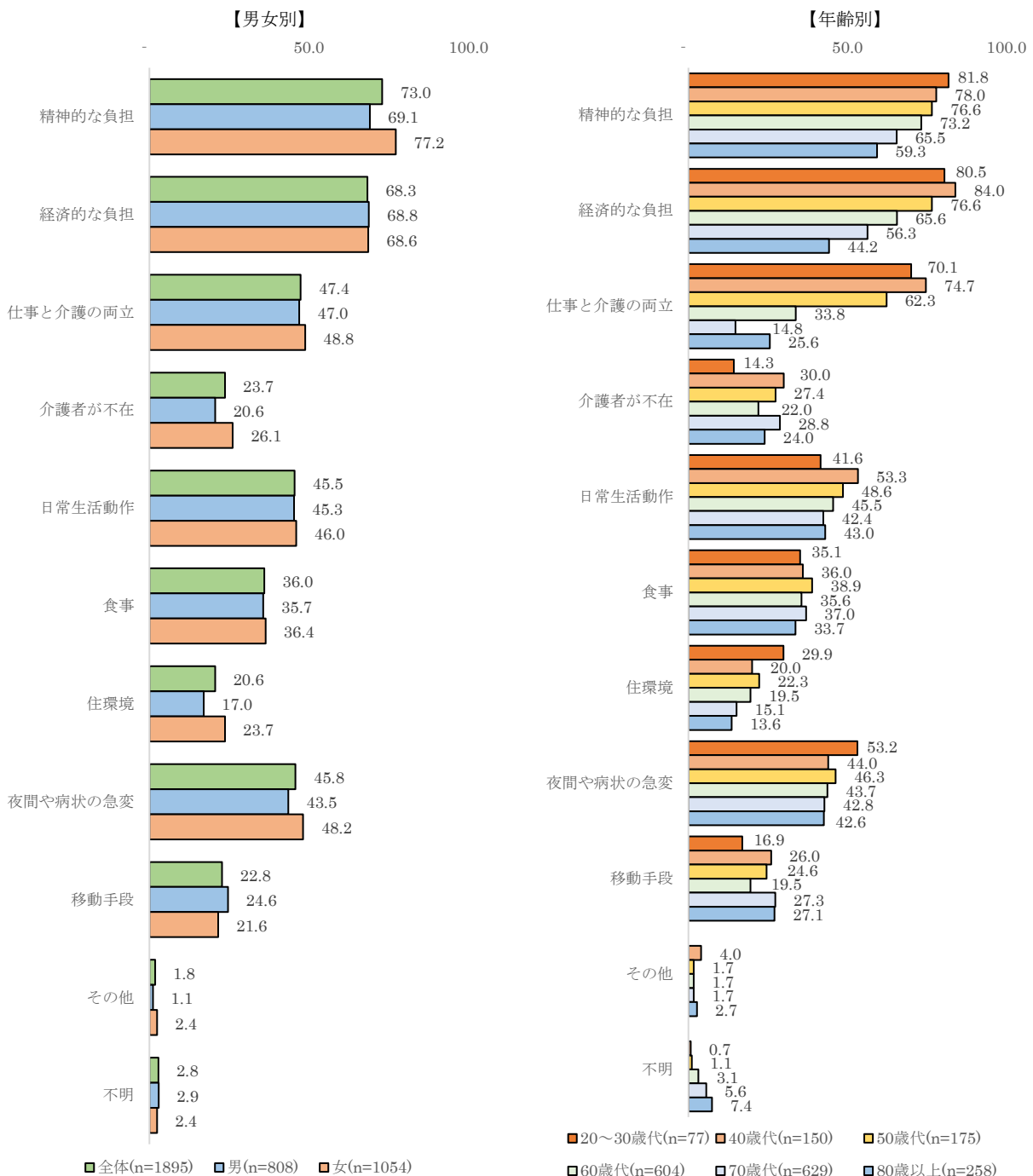


(6) -①自宅で病気療養をする時の不安(性別・年齢)

問11 あなたや家族が自宅で病気療養をすることになった場合、心配や不安に感じることは何だと思いますか。(MA:該当するもの全てに○)

自宅で病気療養をする時の不安を全体で見ると、「精神的な負担」が73%で最も高く、次いで「経済的な負担」(68.3%)、「仕事と介護の両立」(47.4%)となった。

若い世代は、「精神的な負担」、「経済的な負担」、「仕事と介護の両立」が高い傾向にあるが、年齢を重ねるにつれて、これらの不安は軽減する傾向にあった。

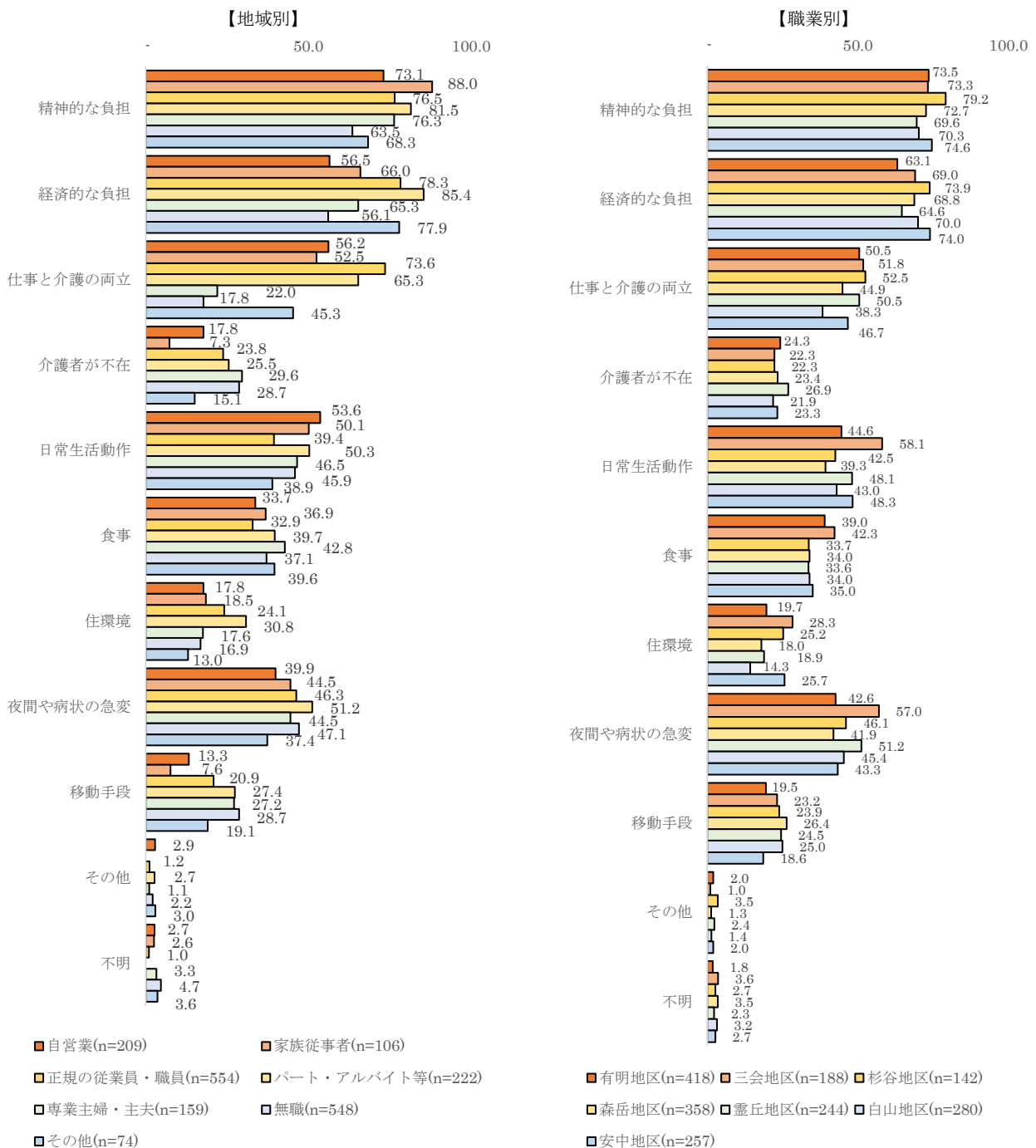


(6) -②自宅で病気療養をする時の不安(居住地域・職業)

問11 あなたや家族が自宅で病気療養をすることになった場合、心配や不安に感じることは何だと思いますか。(MA:該当するもの全てに○)

自宅で病気療養をする時の不安に関して、地域差はほとんど見られなかった。

職業別では、「正規の従業員・職員」は「仕事と介護の両立」の不安が高い傾向にあった。

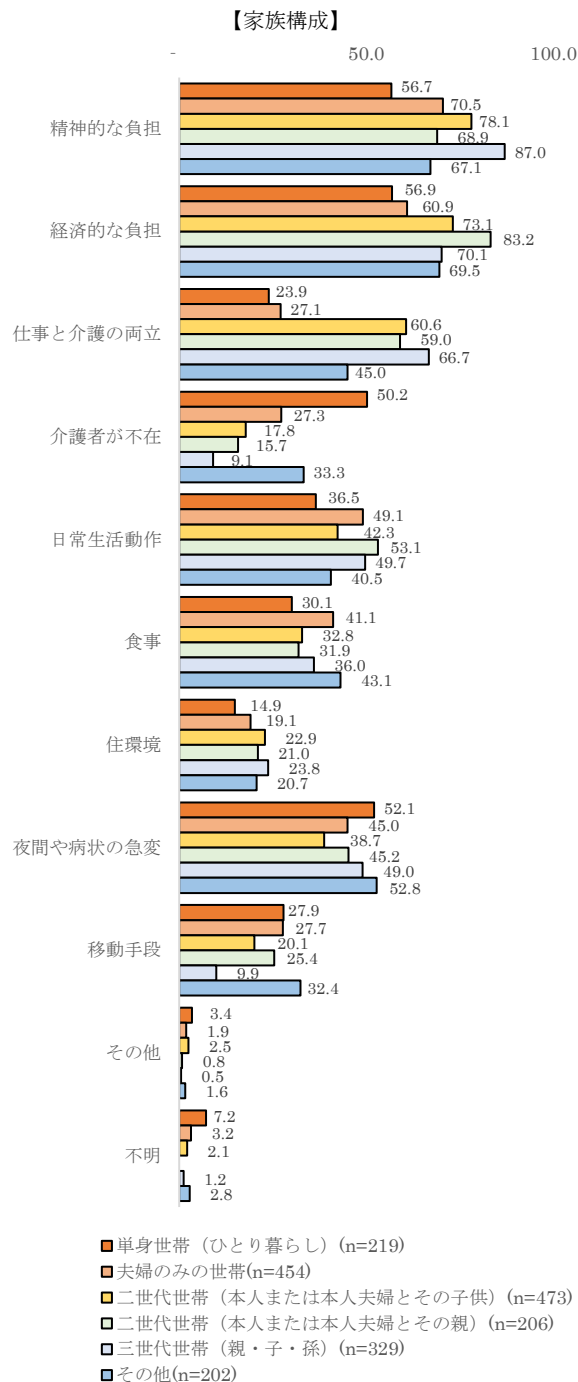


(6) -③自宅で病気療養をする時の不安（家族構成）

問11 あなたや家族が自宅で病気療養をすることになった場合、心配や不安に感じることは何だと思いますか。(MA：該当するもの全てに○)

自宅で病気療養をする時の不安に関して、家族構成別で見ると、全体で回答率が高かった「精神的な負担」、「経済的な負担」、「仕事と介護の両立」は「単身世帯」と「夫婦のみの世帯」は平均より低く、「二世世代世帯」や「三世世代世帯」で平均より高い傾向が見られた。

一方、「介護者が不在」については、「単身世帯」が全体に比べ26.5ポイント高いなど、特に不安視する傾向が見られた。

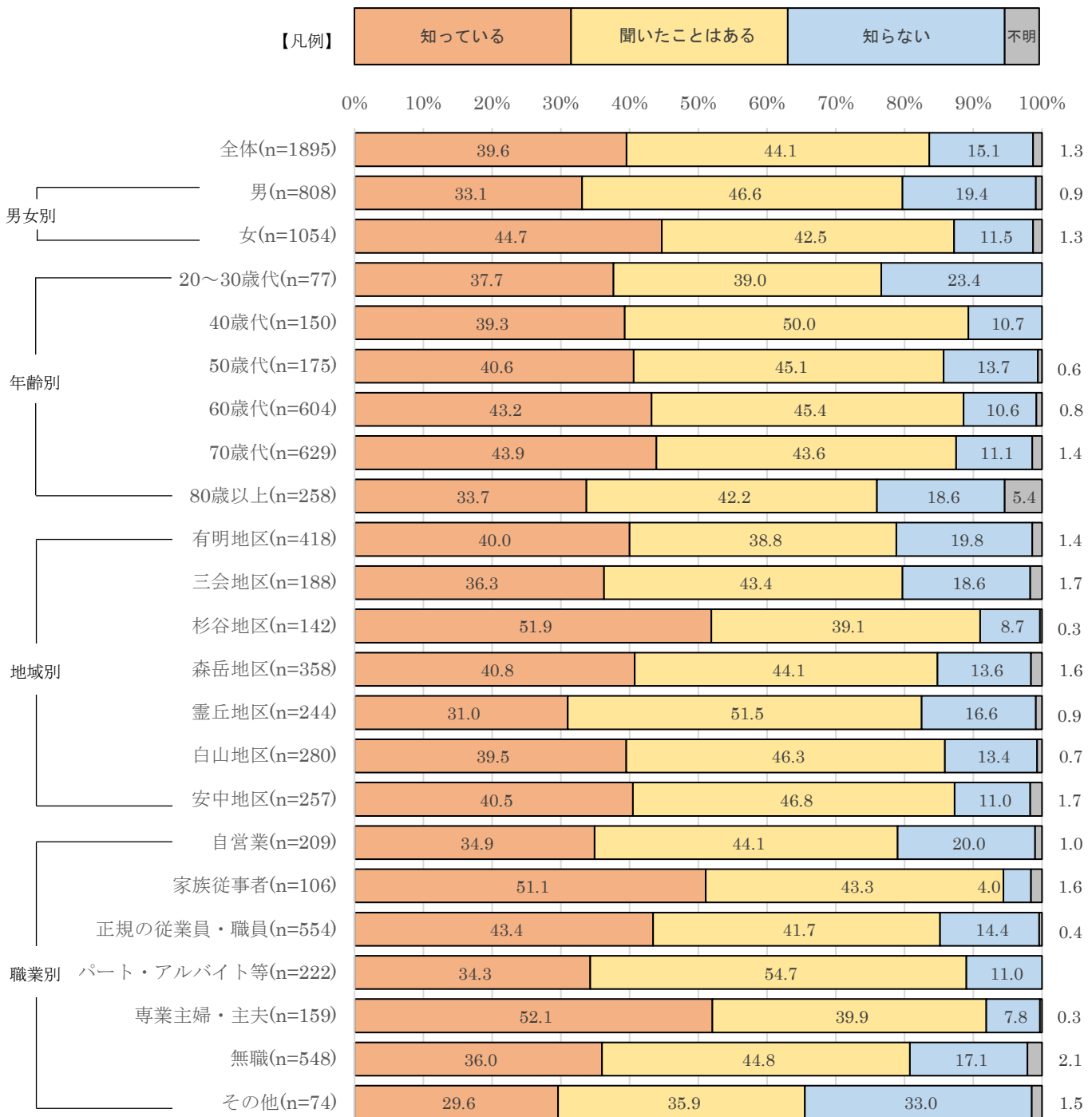


(7) 在宅医療の認知度

問12 あなたは在宅医療について知っていますか。(SA)

在宅医療の認知度を全体で見ると、「知っている」、「聞いたことはある」と回答した割合は、83.7%と高い傾向にあった。

各世代において、在宅医療の認知度は高く、「40歳代」は最も高く89.3%が「知っている」、「聞いたことはある」と回答した結果となった。

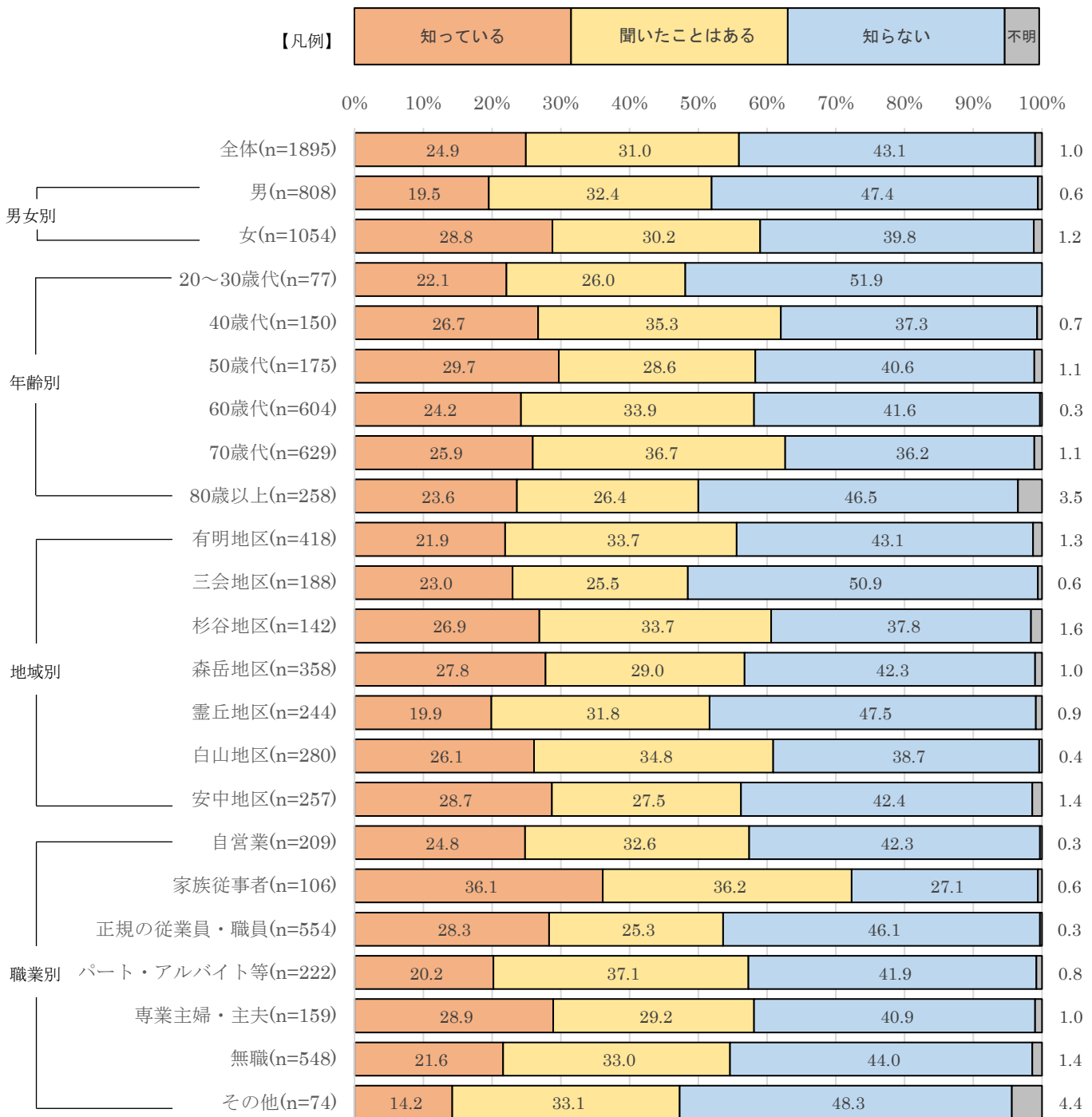


(8) 在宅医療に取り組んでいる医療機関の認知度

問13 在宅医療に取り組んでいる病院、診療所があることを知っていますか。(SA)

在宅医療に取り組んでいる医療機関の認知度を全体で見ると、「知っている」、「聞いたことはある」と回答した割合は55.9%であった。

属性別に見ると男女別では「女性」、年齢別では「70歳代」、職業別では「家族従事者」が最も高い割合となった。各世代とも在宅医療に取り組んでいる医療機関の認知度は約半数を占める結果となった。

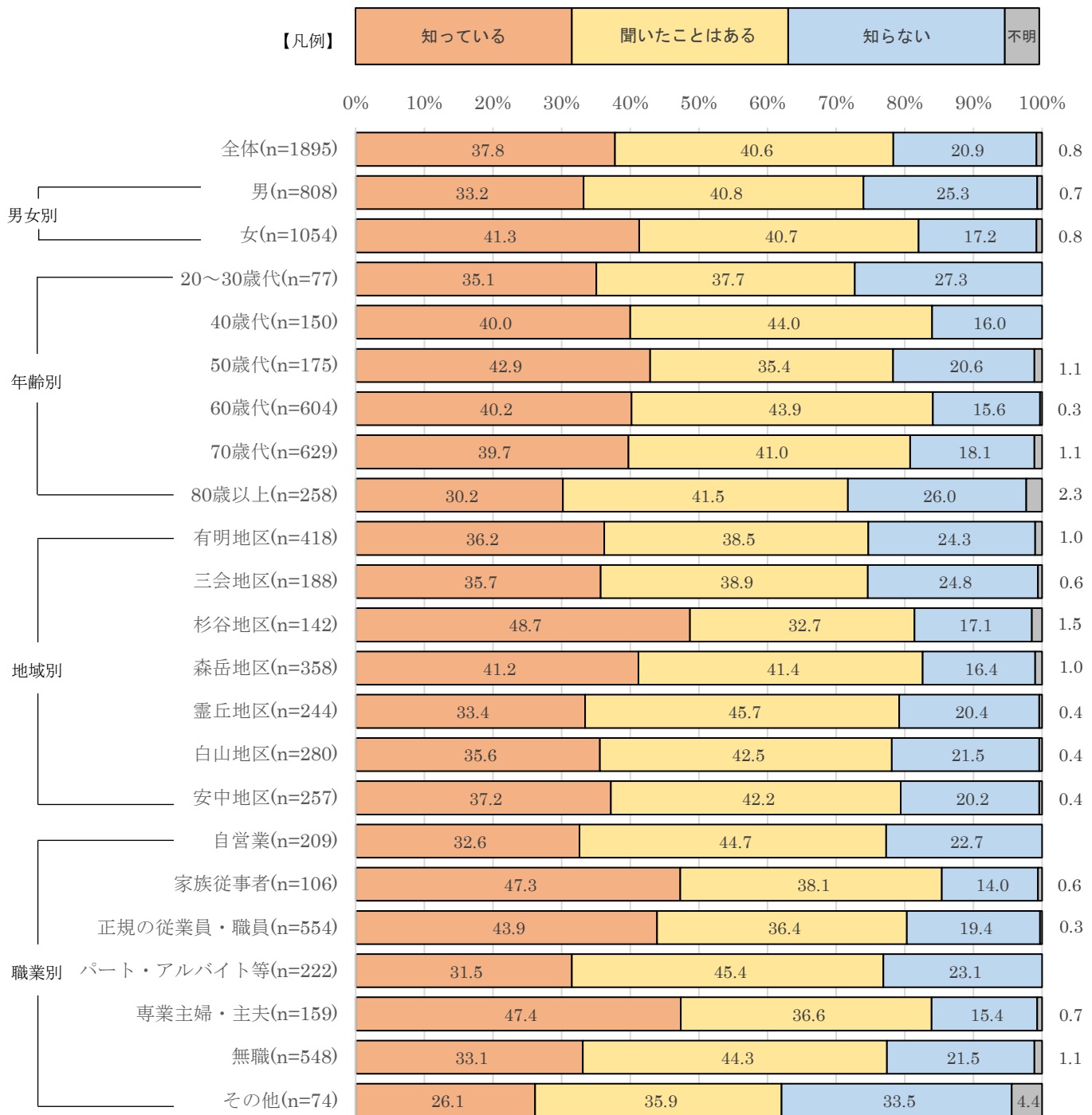


(9) 在宅介護の認知度

問14 あなたは在宅介護について知っていますか。(SA)

在宅介護の認知度を全体で見ると、「知っている」、「聞いたことはある」と回答した割合は78.4%と高い傾向にあった。

各世代において、在宅介護の認知度は高く、「60歳代」は最も高く84.1%が「知っている」、「聞いたことはある」と回答した結果となった。

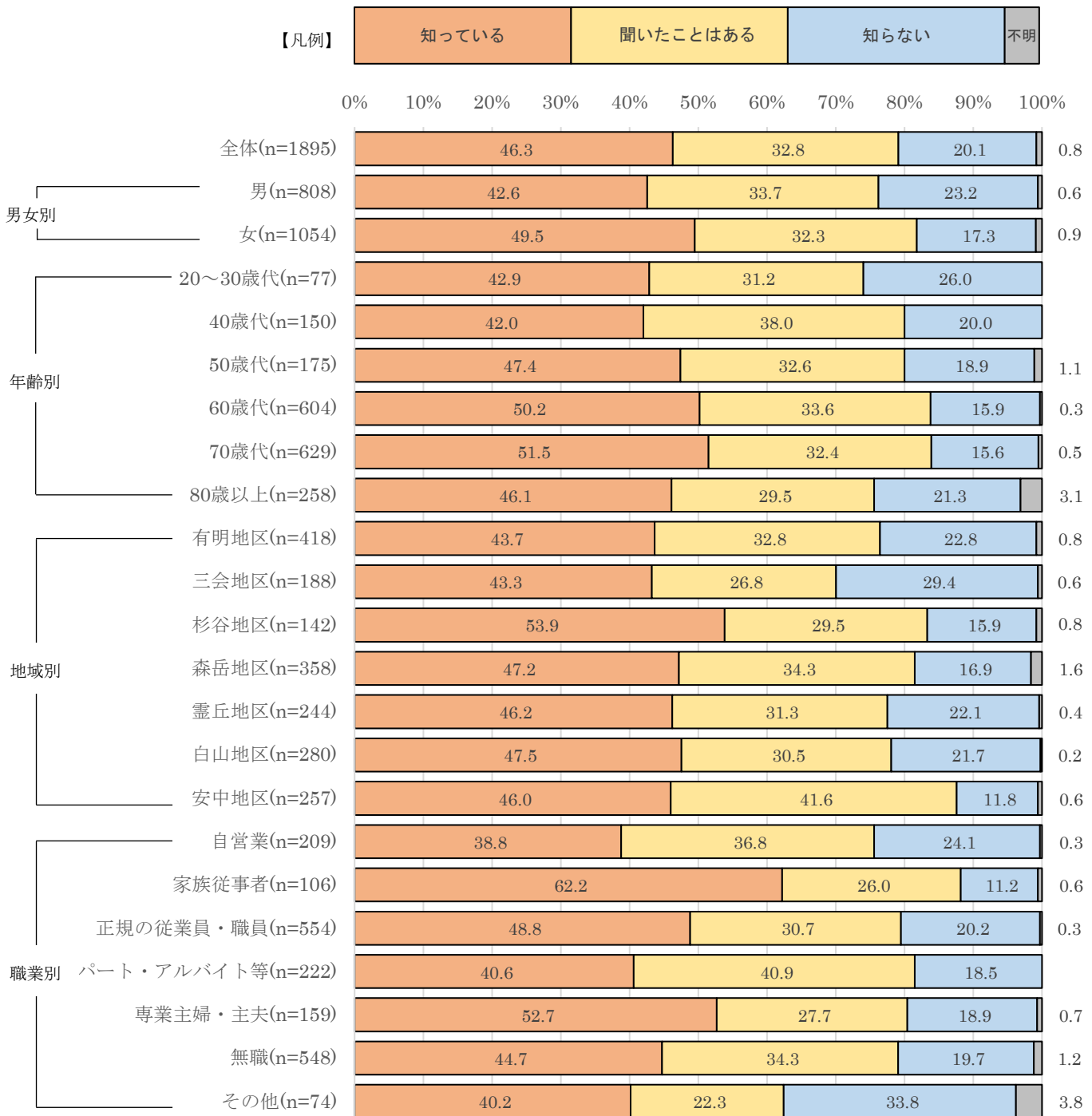


(10) 在宅介護に取り組んでいる事業所の認知度

問15 在宅介護に取り組んでいる事業所（デイサービスや訪問介護事業所等）があることを知っていますか。（SA）

在宅介護に取り組んでいる事業所の認知度を全体で見ると、「知っている」、「聞いたことはある」と回答した割合は79.1%となった。

各世代において、「知っている」と回答した割合は約半数であったが、「聞いたことはある」を含めると約8割が認知している結果となった。

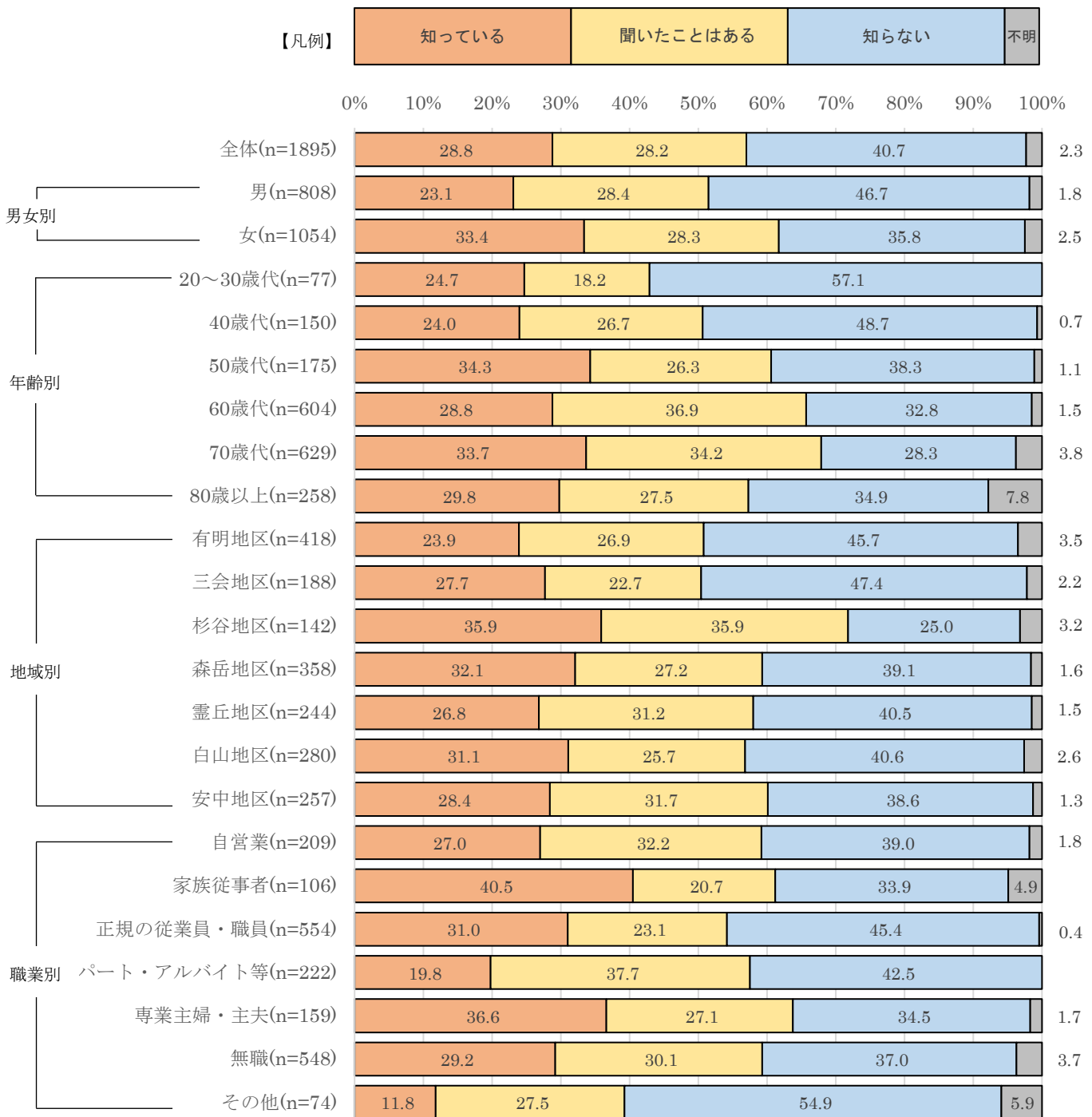


(11) 島原市在宅医療・介護相談センターの認知度

問16 島原市には在宅医療・介護の相談窓口として「島原市在宅医療・介護相談センター」がありますが知っていますか。(SA)

島原市在宅医療・介護相談センターの認知度を全体で見ると、「知っている」、「聞いたことがある」と回答した割合は57%となった。

「20～30歳代」から「70歳代」において、「知っている」、「聞いたことはある」と回答した割合は増加傾向にあった。

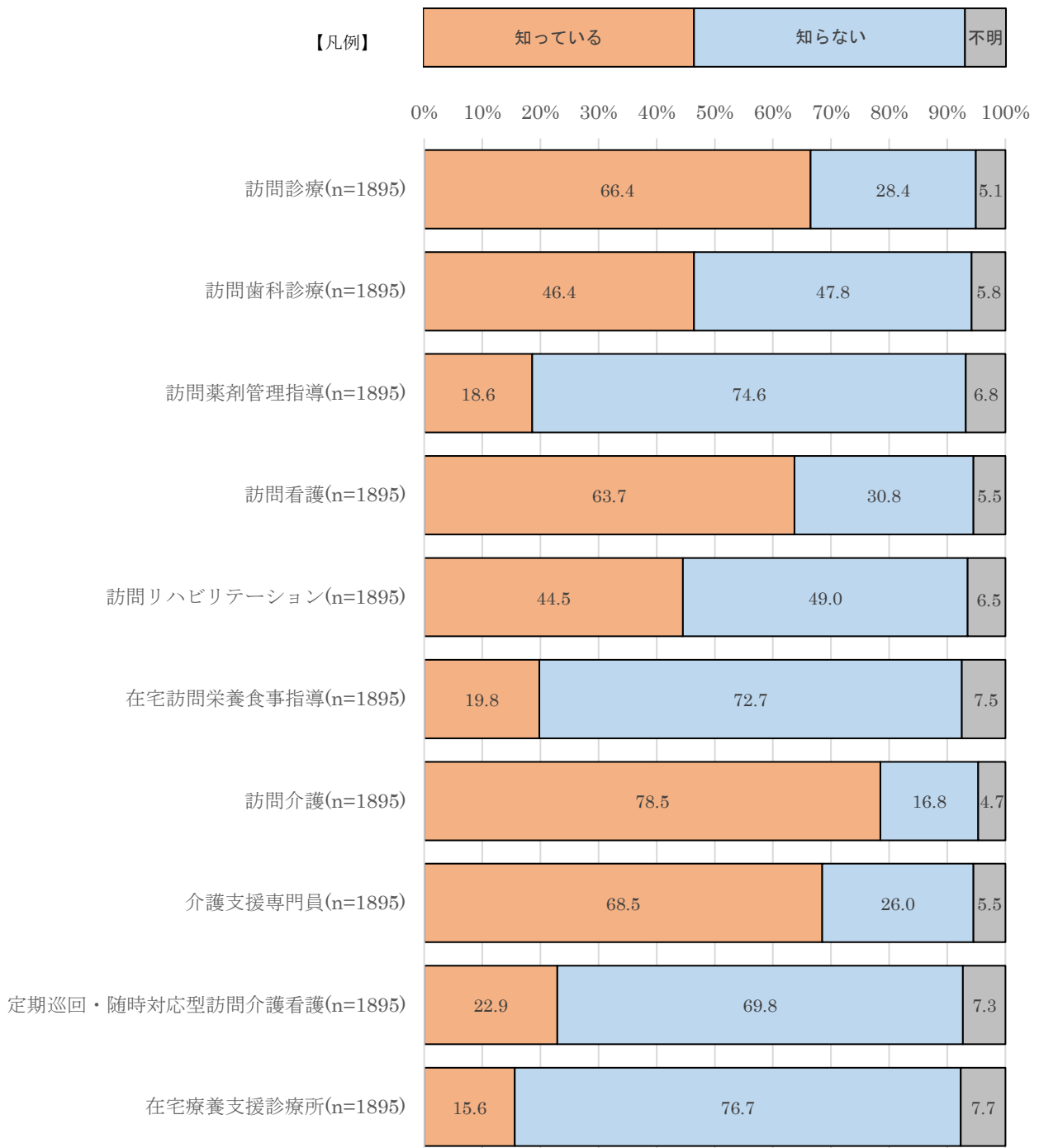


(12) 在宅医療・介護サービスの認知度

問17 以下のような在宅医療・介護のサービスをご存知ですか。(SA)

在宅医療・介護サービスにおいて認知度が最も高いサービスは「訪問介護」であった。

一方で、「訪問薬剤管理指導」、「在宅訪問栄養食事指導」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「在宅療養支援診療所」は認知度が20%前後と低い結果となった。

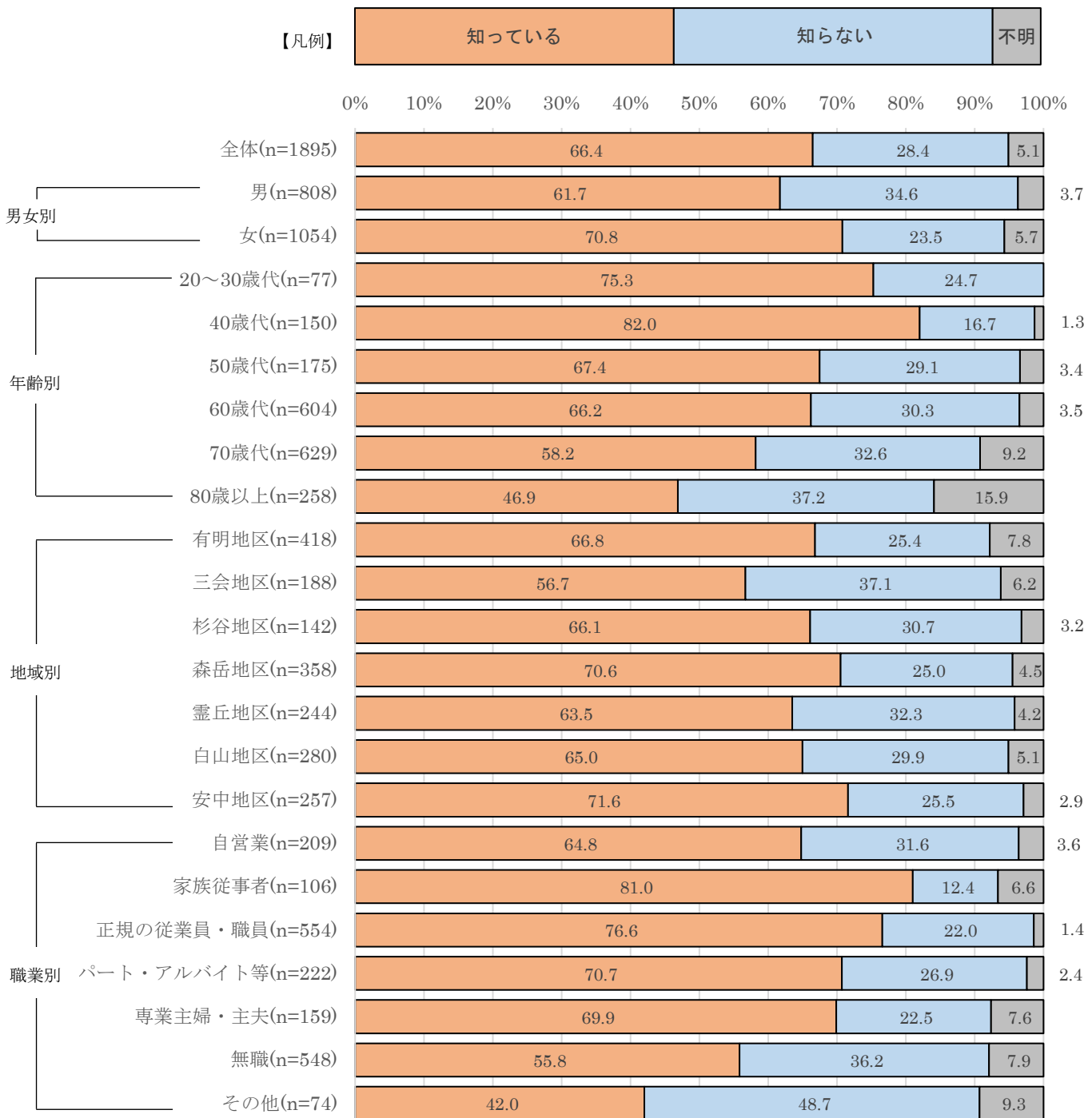


(13) 訪問診療の認知度

問17-ア あなたは訪問診療（医師の訪問）をご存知ですか。（SA）

訪問診療の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は66.4%となった。

属性別に見ると男女別では「女性」、年齢別では「40歳代」、職業別では「家族従事者」が最も高い割合となった。年齢別に比較すると、若い世代（20～30歳代、40歳代）が他世代と比較して認知度が高い傾向にあった。

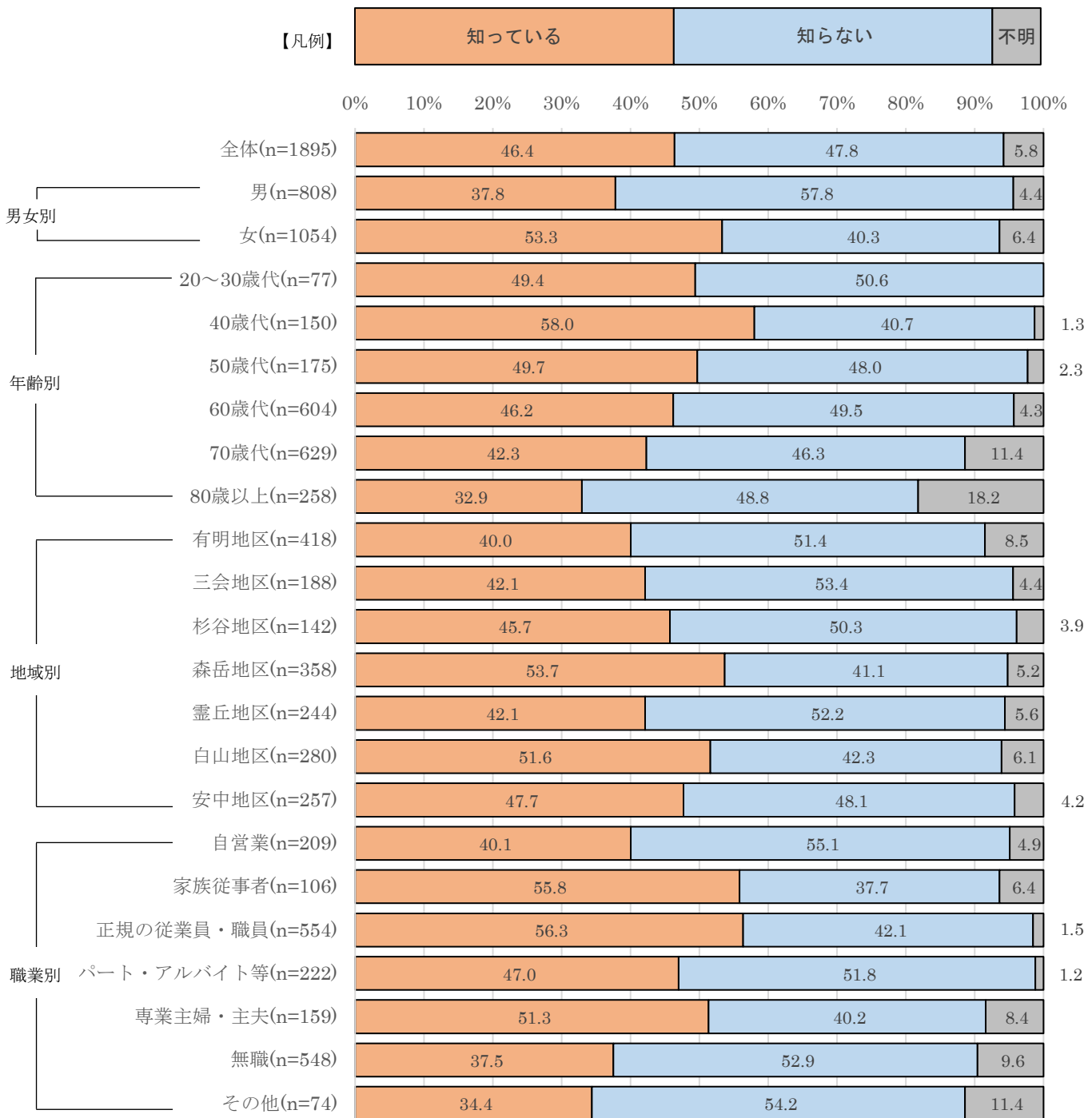


(14) 訪問歯科診療の認知度

問17-イ あなたは訪問歯科診療（歯科医師の訪問）をご存知ですか。（SA）

訪問歯科診療の認知度を全体で見ると、「知っている」、「知らない」と回答した割合はほぼ同数となった。

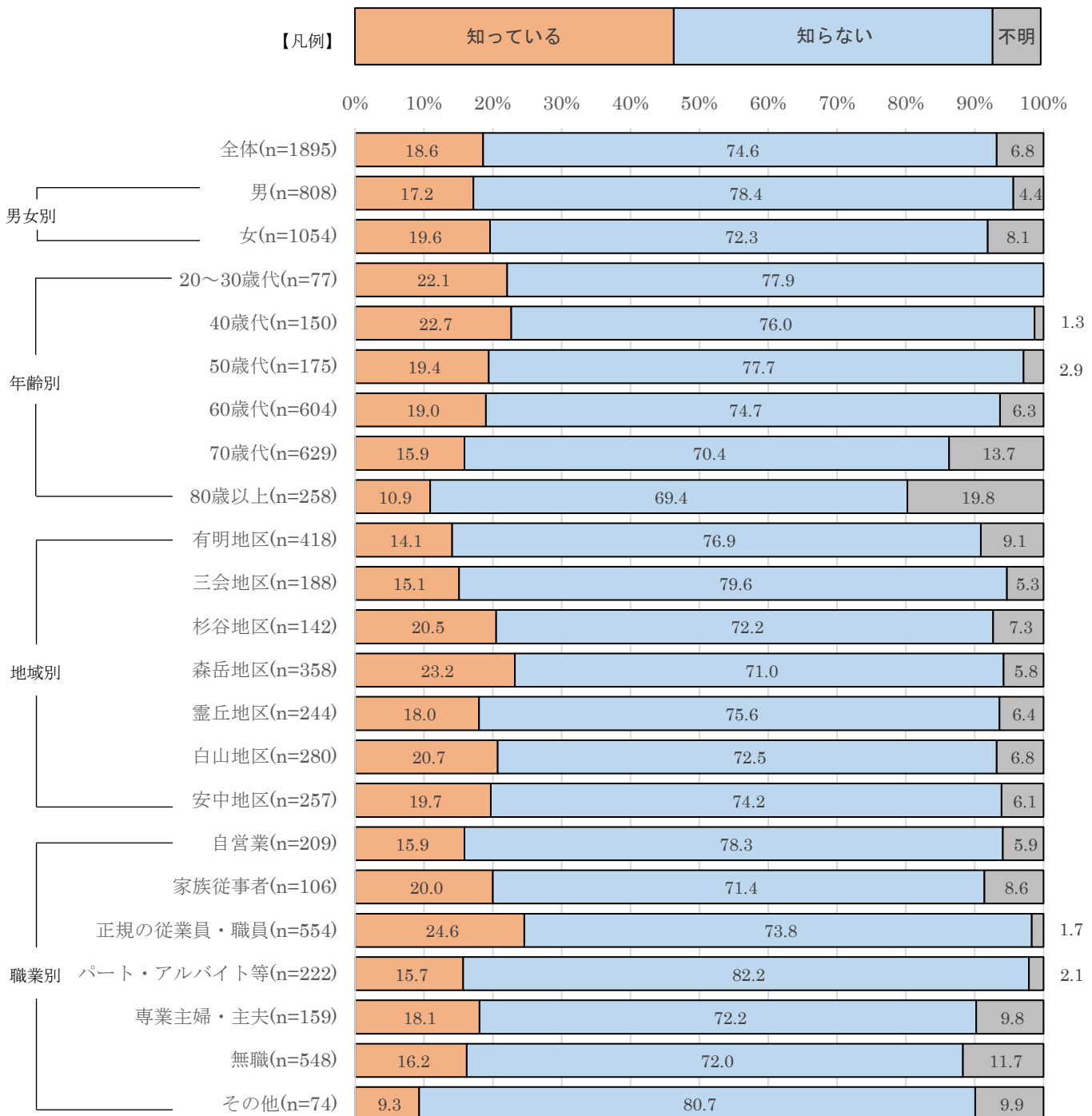
年齢別に比較すると、若い世代（20～30歳代、40歳代）の認知度が高い傾向にあるが、年齢を重ねるにつれて、「知っている」と回答した割合は減少傾向にあった。



(15) 訪問薬剤管理指導の認知度

問17-ウ あなたは訪問薬剤管理指導（薬剤師の訪問）をご存知ですか。(SA)

訪問薬剤管理指導の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は18.6%であった。
各世代において、「知らない」と回答した割合が高く、認知度が低い結果となった。

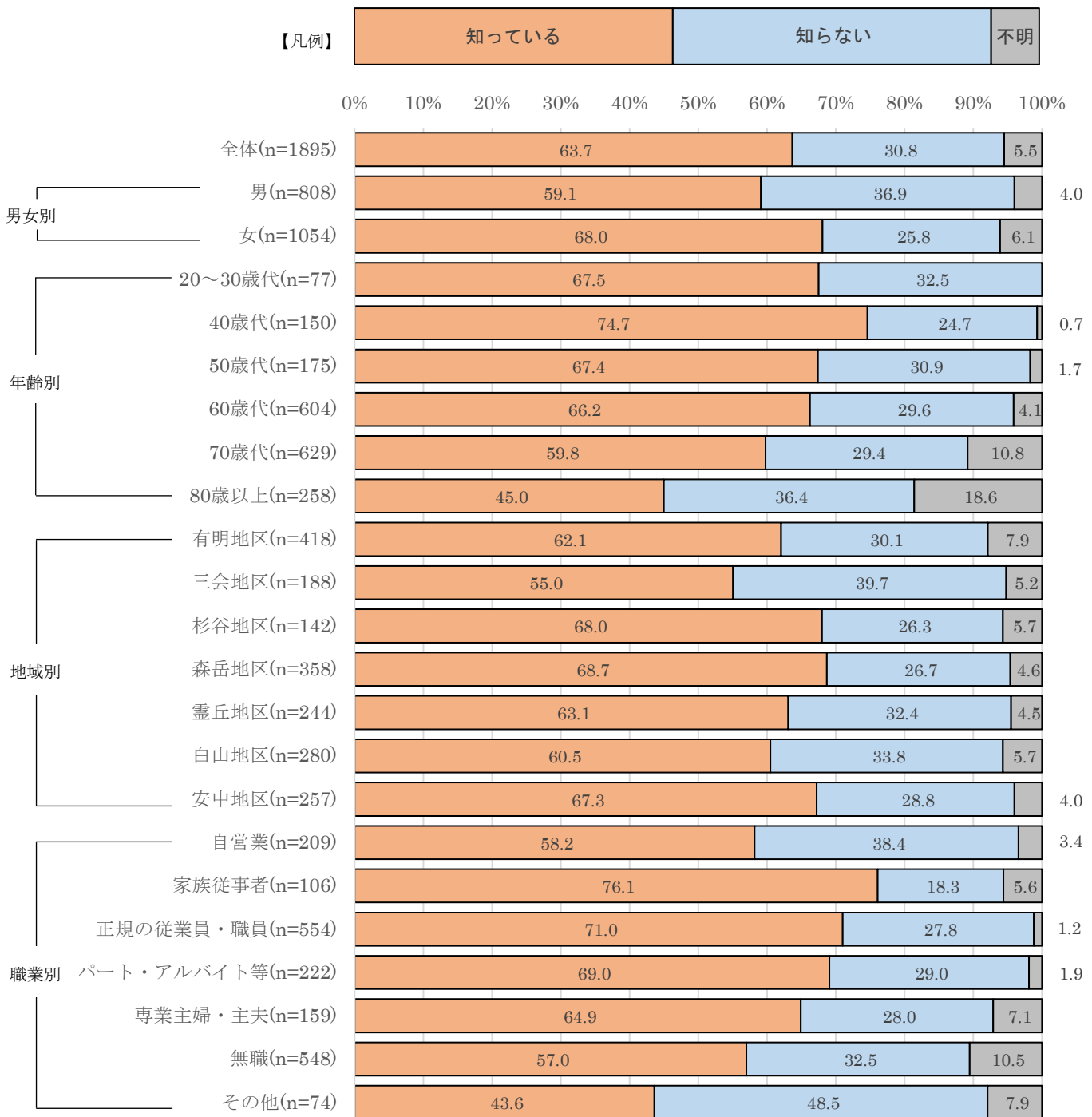


(16) 訪問看護の認知度

問17-E あなたは訪問看護（看護師などの訪問）をご存知ですか。（SA）

訪問看護の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は63.7%であった。

属性別に見ると男女別では「女性」、年齢別では「40歳代」、職業別では「家族従事者」が最も高い割合となった。各世代において「知っている」と回答した割合が高い結果となった。

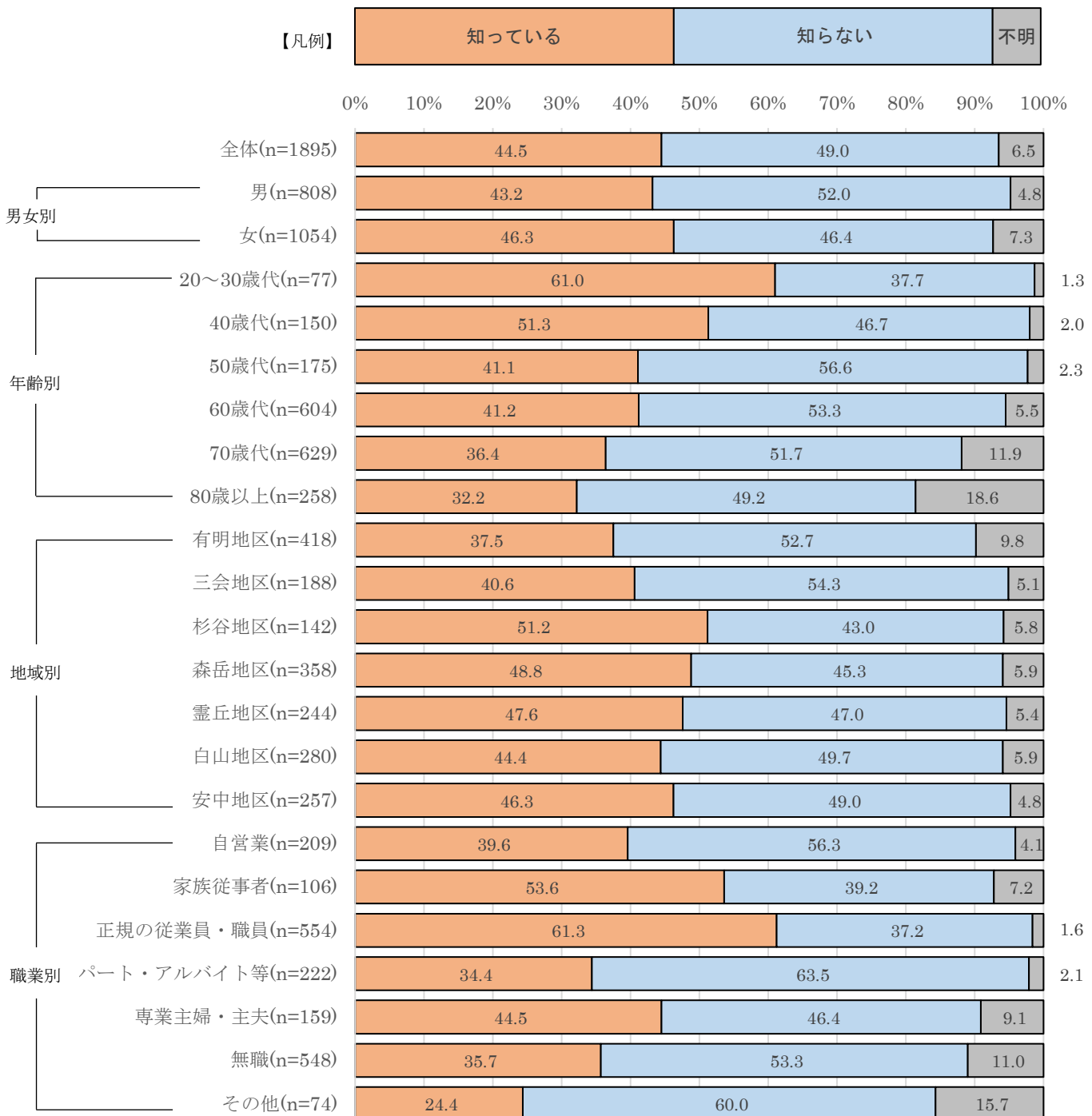


(17) 訪問リハビリテーションの認知度

問17-オ あなたは訪問リハビリテーション（リハビリ専門職の訪問）をご存知ですか。（SA）

訪問リハビリテーションの認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は44.5%であった。

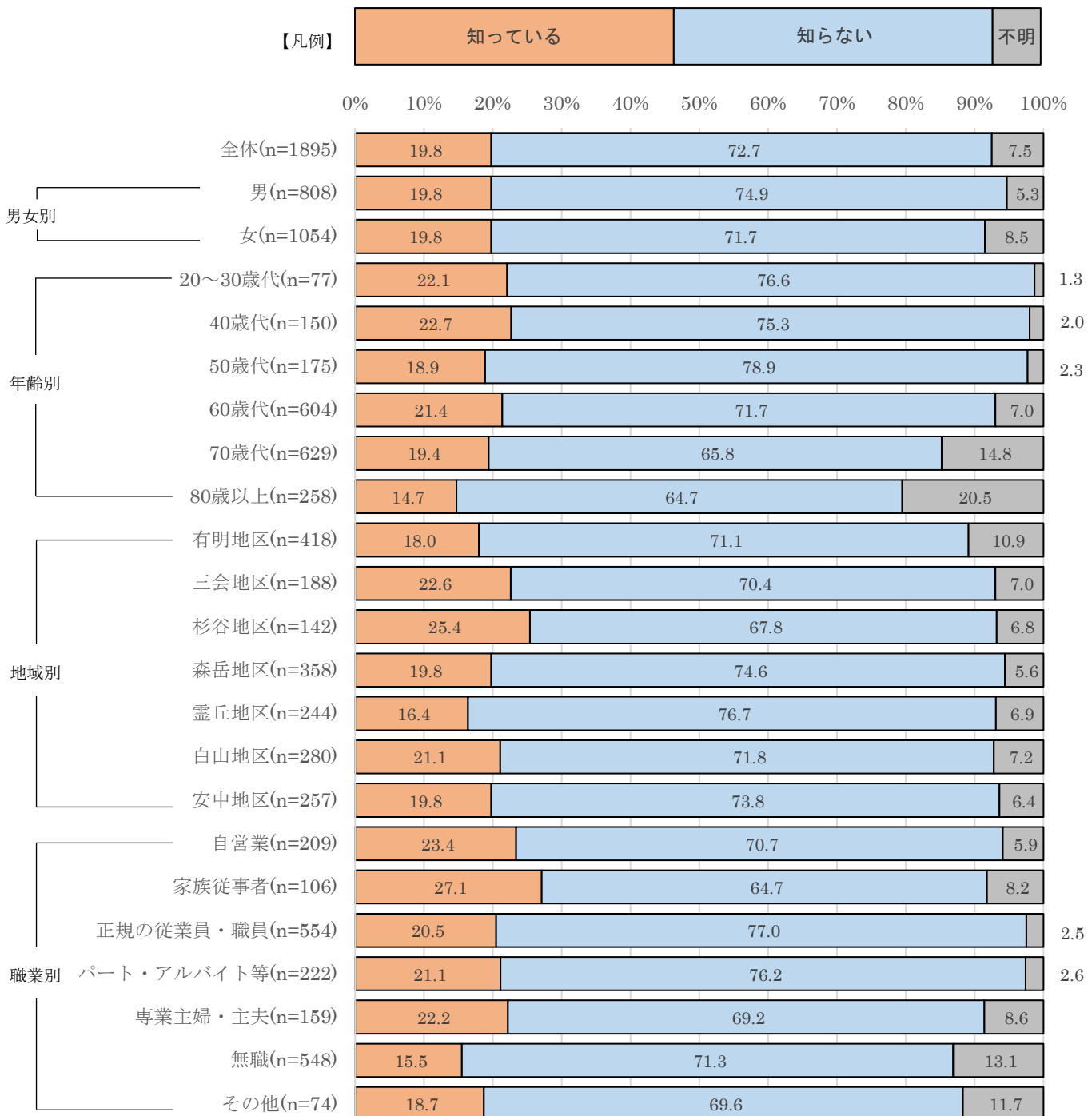
属性別に見ると男女別では「女性」、年齢別では「20～30歳代」、職業別では「正規の従業員・職員」が最も高い割合となった。年齢別に比較すると、若い世代（20～30歳代・40歳代）の認知度が高い傾向にあった。



(18) 在宅訪問栄養食事指導の認知度

問17-カ あなたは在宅訪問栄養食事指導（管理栄養士の訪問）をご存知ですか。（SA）

在宅訪問栄養食事指導の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は19.8%であった。属性別に見ると男女別では「男性」、「女性」が同率であり、年齢別では「40歳代」、職業別では「家族従事者」が最も高い割合となった。各世代において、「知らない」と回答した割合が高く、認知度が低い結果となった。

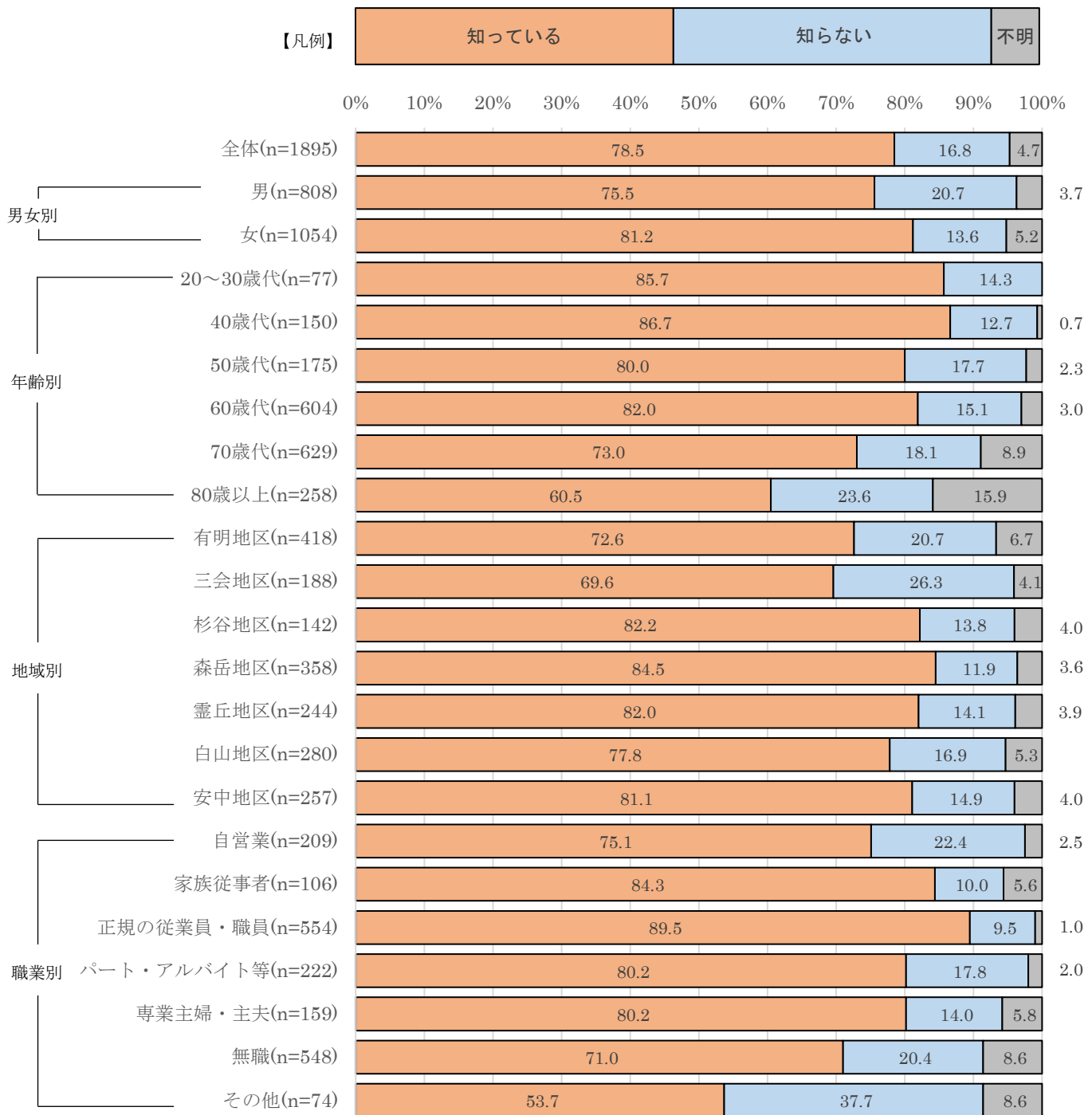


(19) 訪問介護の認知度

問17-キ あなたは訪問介護（ホームヘルパーの訪問）をご存知ですか。(SA)

訪問介護の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は78.5%であった。

各世代において認知度が高く、本調査の在宅医療・介護サービスの認知度において「知っている」と回答した割合が最も高い結果となった。

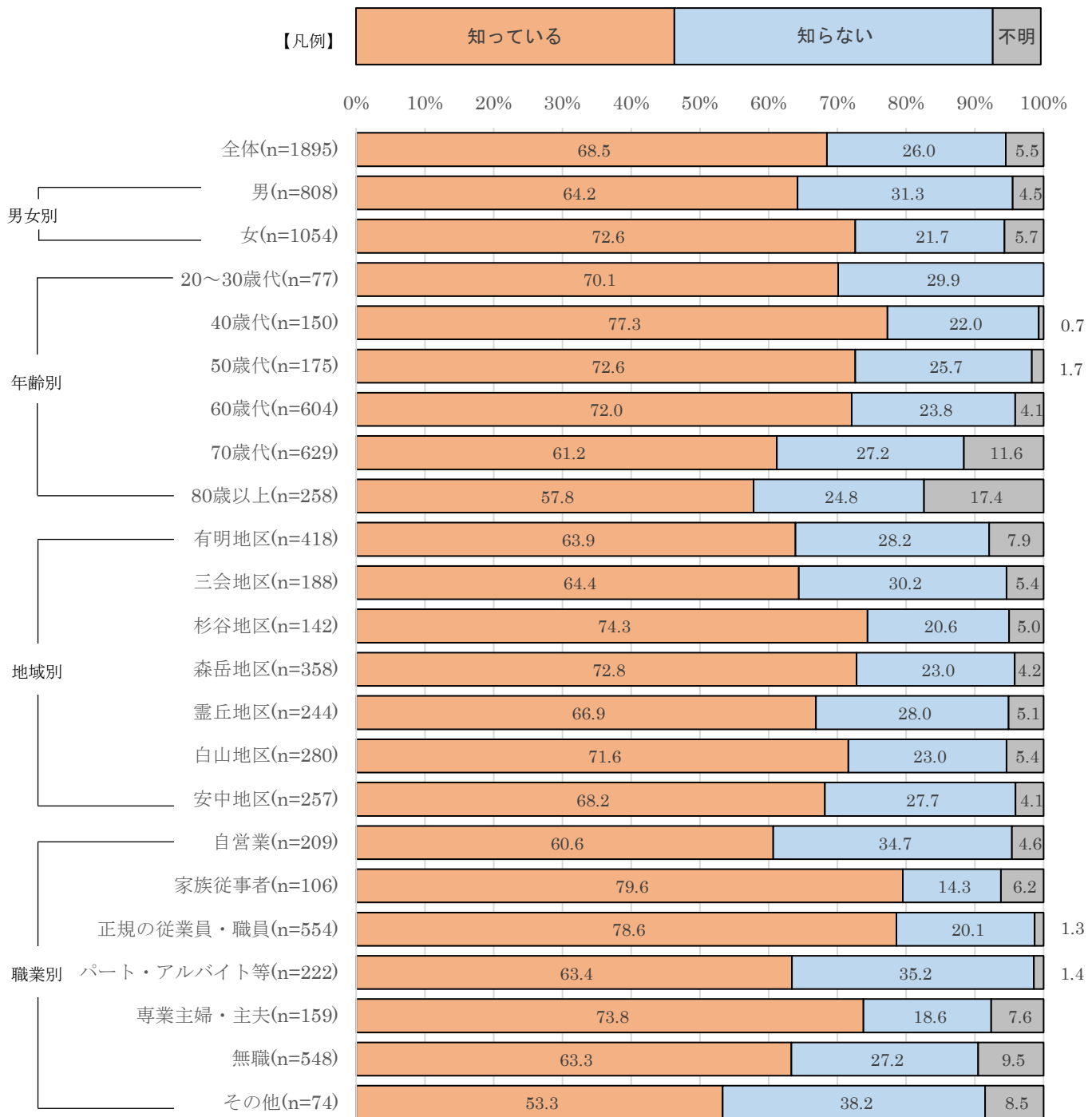


(20) 介護支援専門員の認知度

問17-ク あなたは介護支援専門員（ケアマネジャー）をご存知ですか。（SA）

介護支援専門員の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は68.5%であった。

各世代において認知度が高く、本調査の在宅医療・介護サービスの認知度において「知っている」と回答した割合が2番目に高い結果となった。

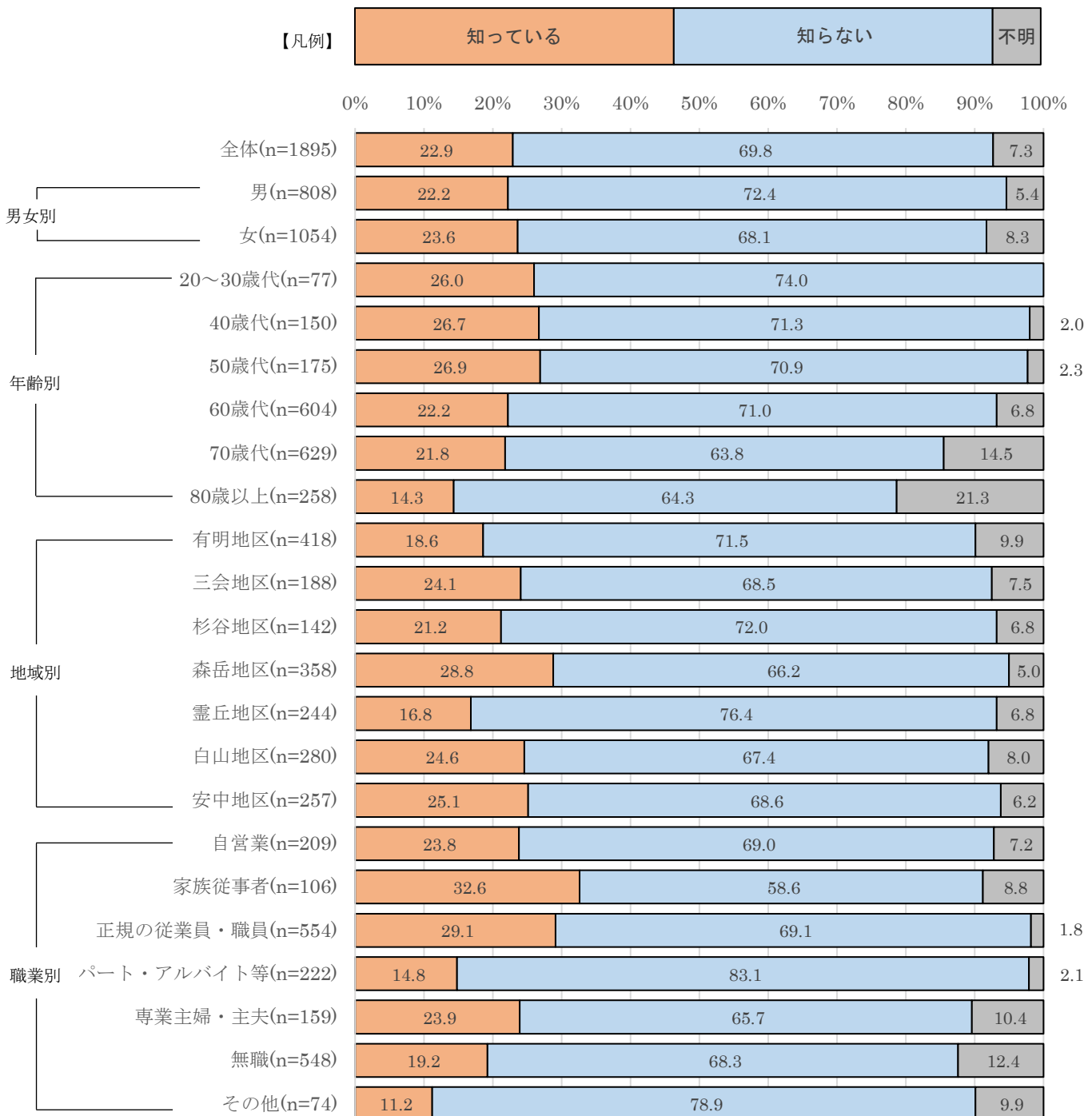


(21) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の認知度

問17-ケ あなたは定期巡回・随時対応型訪問介護看護をご存知ですか。(SA)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は22.9%であった。

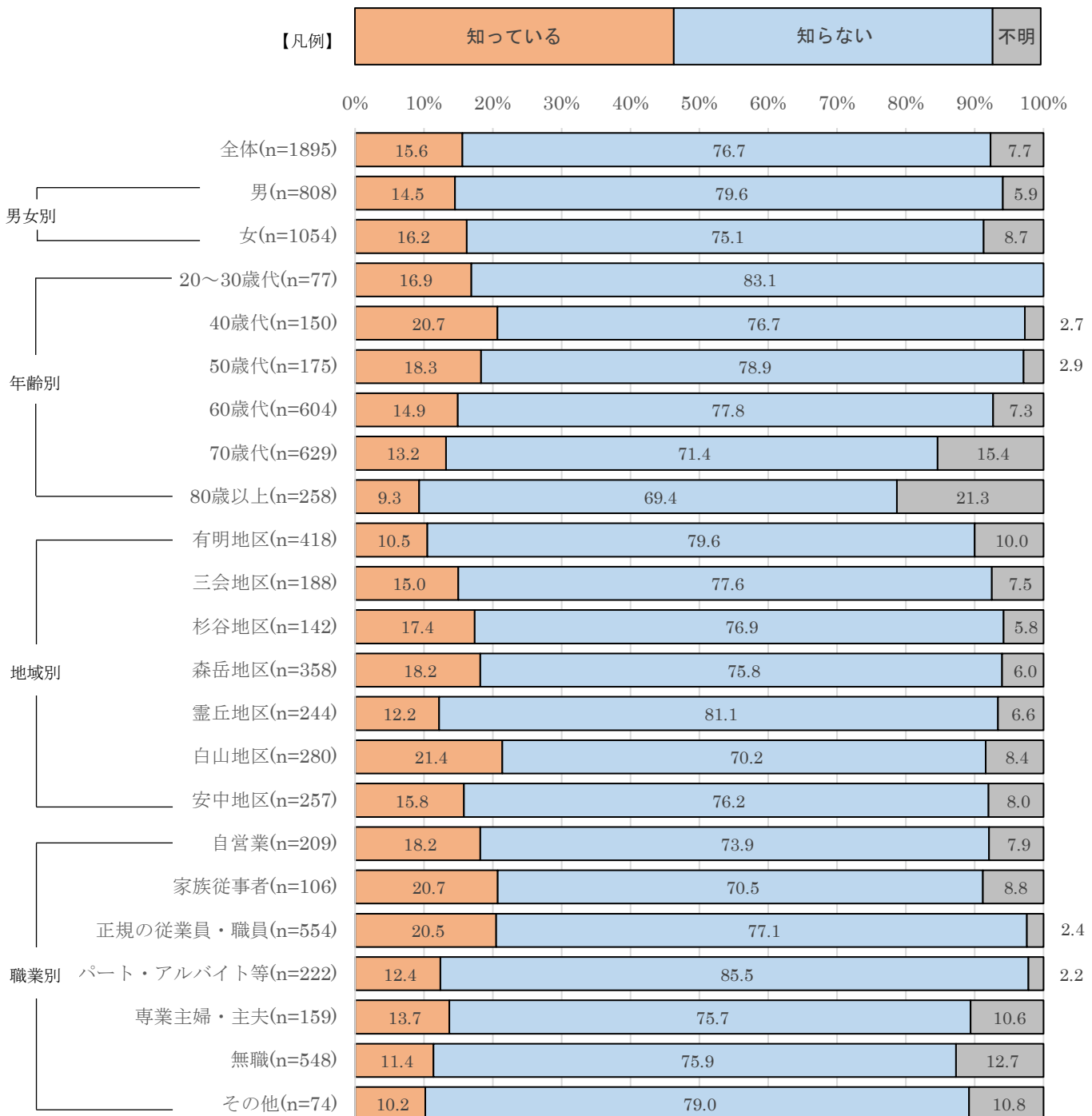
島原市内に定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所数は少ないため、各世代の認知度も低い結果となった。



(22) 在宅療養支援診療所の認知度

問17-コ あなたは在宅療養支援診療所をご存知ですか。(SA)

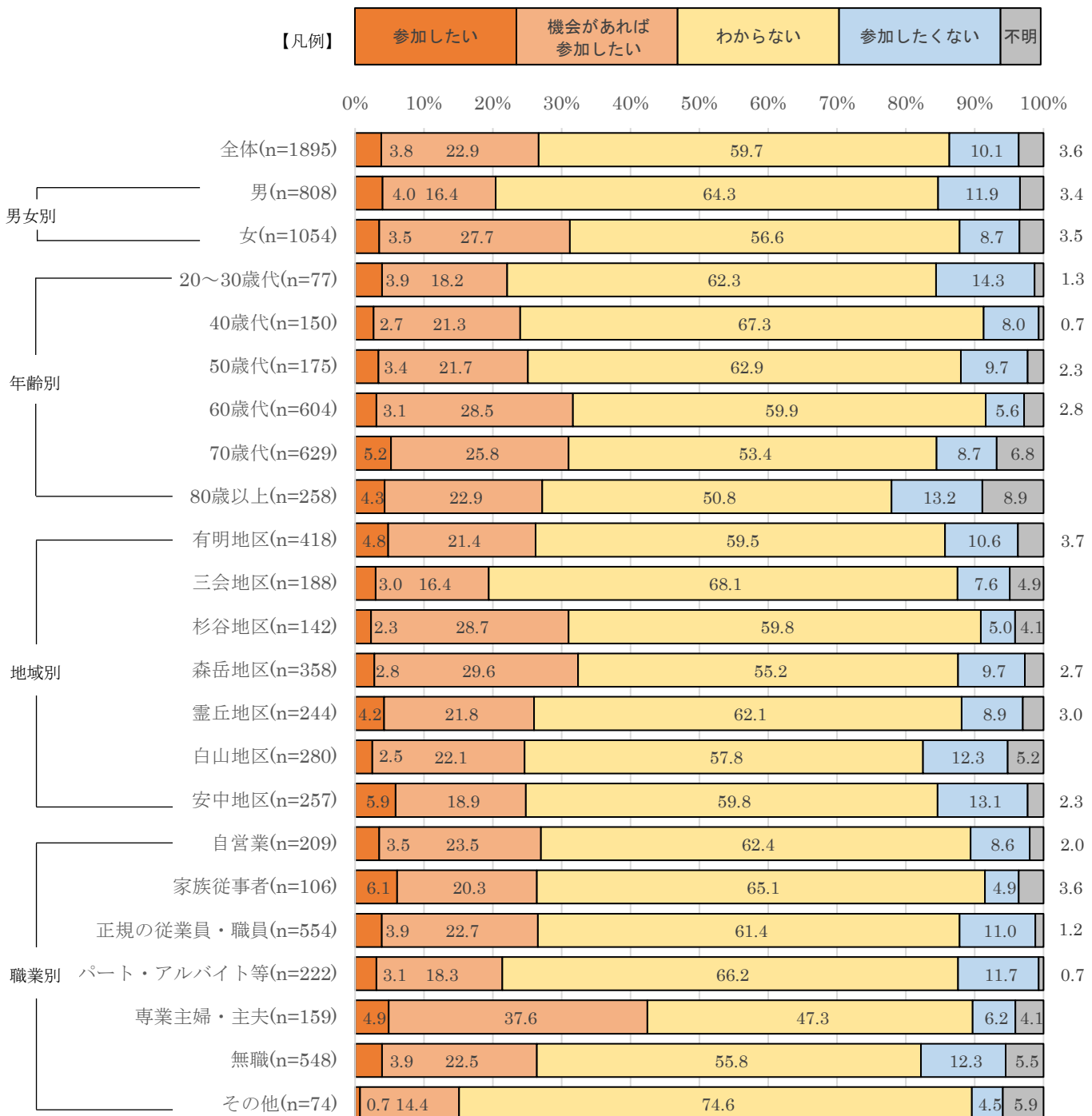
在宅療養支援診療所の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は15.6%であった。
島原市内に在宅療養支援診療所の事業所数が少ないため、各世代の認知度も最も低い結果となった。



(23) ー①在宅医療に関する講演会

問18 あなたは在宅医療に関する講演会などがあったら、参加したいと思いますか。(SA)

在宅医療に関する講演会の参加希望を全体で見ると、「参加したい」、「機会があれば参加したい」と回答した割合は26.7%となった。全体的に「参加したくない」と回答した割合は低く、「わからない」と回答した割合が最も高い結果となった。職業別では、「専業主婦・主夫」が他職種と比較して、「機会があれば参加したい」と回答する割合が高い傾向にあった。



(23) ②在宅医療に関する講演会(参加してみたいテーマ)

問18 「ぜひ参加したい」、「機会があれば参加したい」と回答した方にお聞きします。
参加してみたいテーマなどご自由にお書きください。(FA)

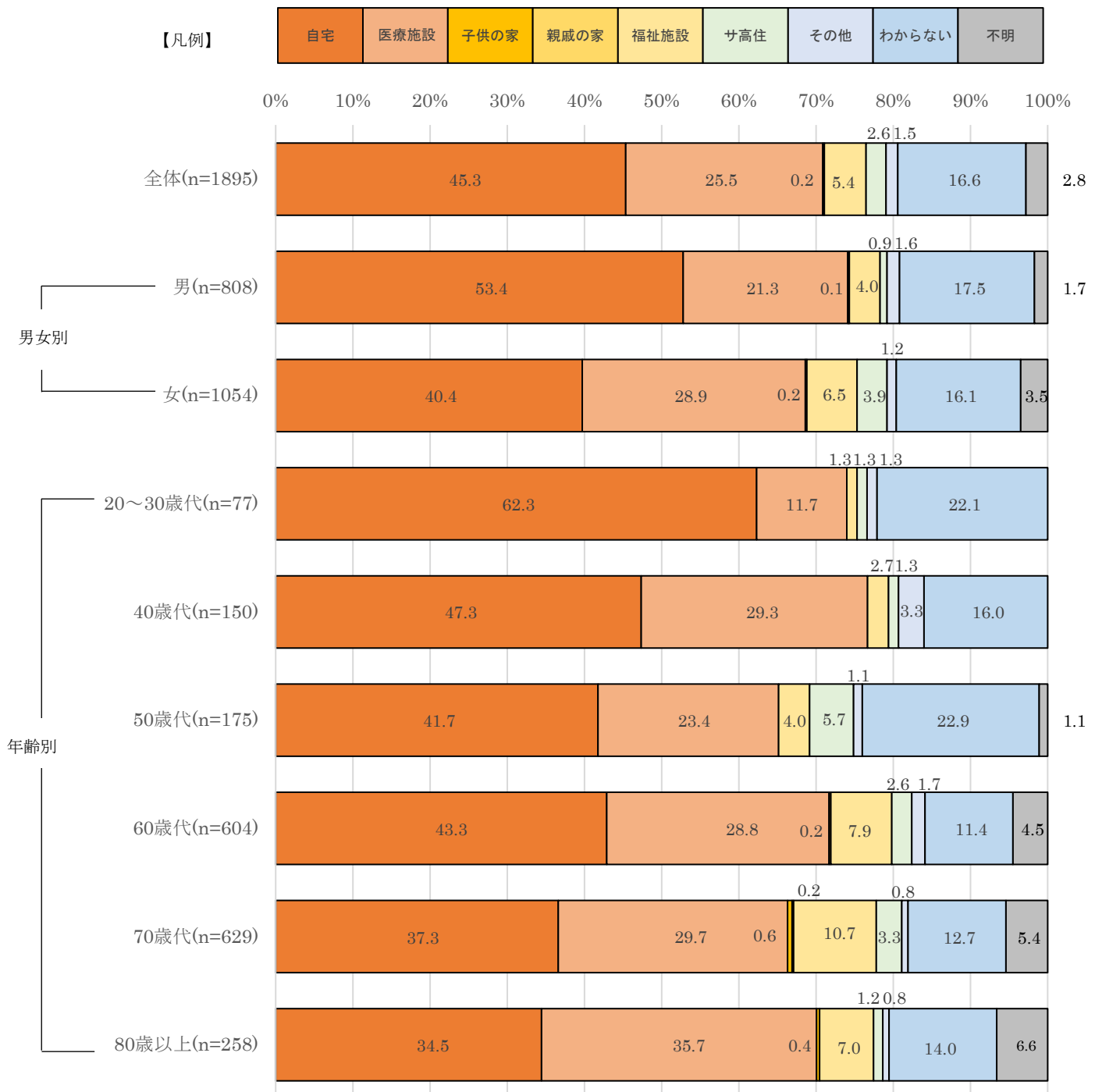
在宅医療に関する講演会の参加したいテーマの自由記述を分類すると、以下のとおりになった。

	意見(抜粋)
在宅医療(48件)	在宅医療の事がほとんど理解していないのでテーマは「在宅医療とは何か」/ 「在宅医療の実情」専門家からの良かった点だけでなく、経験者からの不足点 や改善点なども聞きたい/など
在宅介護(26件)	食事、お風呂の入れ方など、家での介護の指導/家族の精神的負担について/ 精神的ケアにおいて要介護者と介護者両方の実態とケア方法/介護する家族 の心構え、留意すべき事など/介護者の負担を少しでもやわらげる方法をテー マとした内容/など
制度(26件)	利用するための手続きについて/経済的負担(年金でまかなえるか)/在宅医療 と介護の両方は範囲が広すぎるので、相談する機関等/受診する病気ごとの違 い等、受診料のしくみ/など
サービス(22件)	定期巡回・随時対応型訪問介護を知りたい/介護補助を受けられる日数、時間 など/「介護相談センターについて」窓口の場所どこにあるのか/訪問リハビリな どの内容を聞いてみたい/在宅医療で受けられるサービス等/など
認知症(10件)	認知症もしくは軽度認知症の方の介護/認知症で骨折(足やひざなど)したとき、 体位移動の仕方など教えてほしい/認知症の医療機関が島原市にどのくらいあ るのか、入院費は月いくら位かかるかを知りたい/など
ターミナル(8件)	在宅でどの程度まで看取る事が出来るか/高齢となり人生の終わりにどのよう な暮らしをしたら良いか/癌の末期患者のホスピス、緩和ケア/在宅で最期を迎 えるためには/など
食事・栄養(6件)	食事に関するテーマ/飲み込みにくさを感じている方が食べやすい食事の作り 方/口腔ケア/食事(栄養)/など
介護予防(4件)	健康寿命を伸ばせる生活/寝たきりの体にならないように/毎日元気に生活でき るように/寝たきりにならないよう、運動をする方法
その他(36件)	どんなテーマでも聞きたい/介護スタッフ不足をこれからどのようにしていくのか/ 講演会に参加できなくても市政だより等で掲載していただければ助かります/仕 事の為に時間がとれない/病気名に対する注意等の説明/など

(24) ー①人生の最期を迎えたい場所(性別・年齢)

問19 あなたは、治る見込みがない病気になった場合、最期をどこで迎えたいですか(SA)

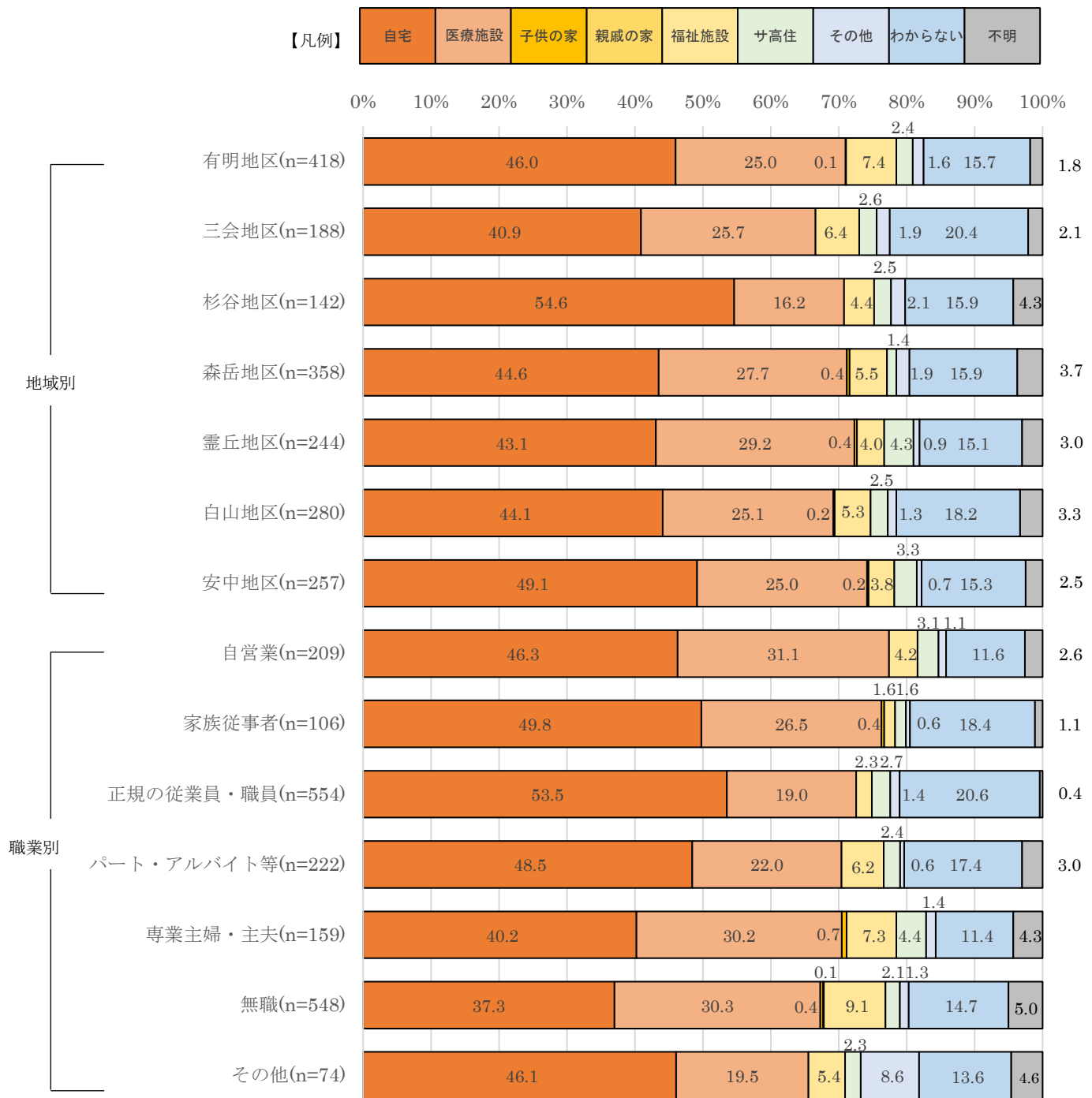
人生の最期を迎えたい場所を全体で見ると、「自宅」と回答した割合が最も高く45.3%となった。若い世代(20～30歳代、40歳代)は「自宅」と回答する傾向にあったが、年齢を重ねるにつれて「自宅」の割合が低下し、「医療施設」、「福祉施設」の割合が増加傾向にあった。



(24) ー②人生の最期を迎えたい場所(居住地・職業)

問19 あなたは、治る見込みがない病気になった場合、最期をどこで迎えたいですか(SA)

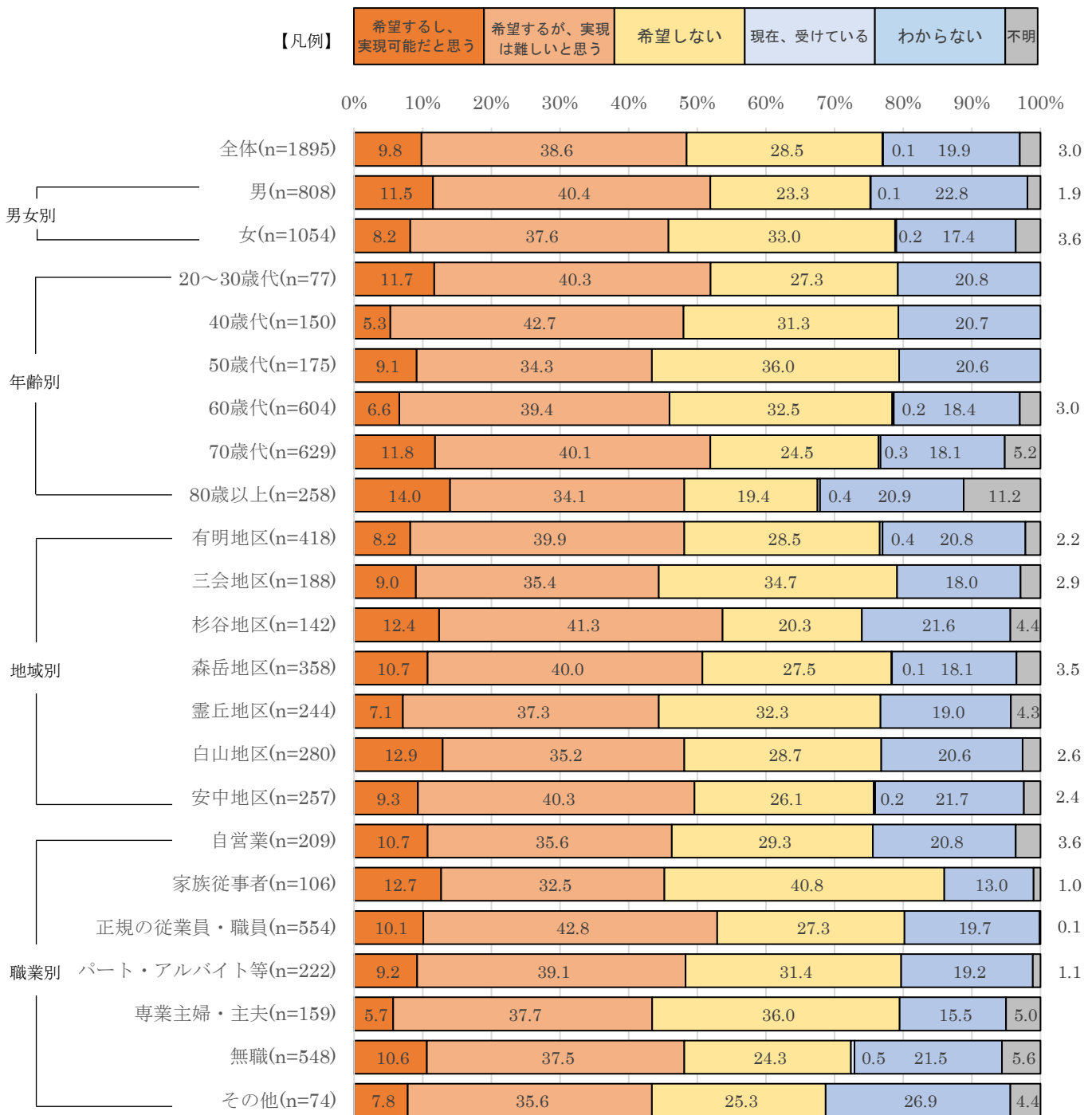
人生の最期を迎えたい場所を職業別で見ると、「自宅」と回答した割合は「正規の従業員・職員」が最も高く、「無職」が最も低い結果となった。



(25) 寝たきり状態における在宅医療の希望

問20 あなたは、寝たきりの状態となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能だと思いますか (SA)

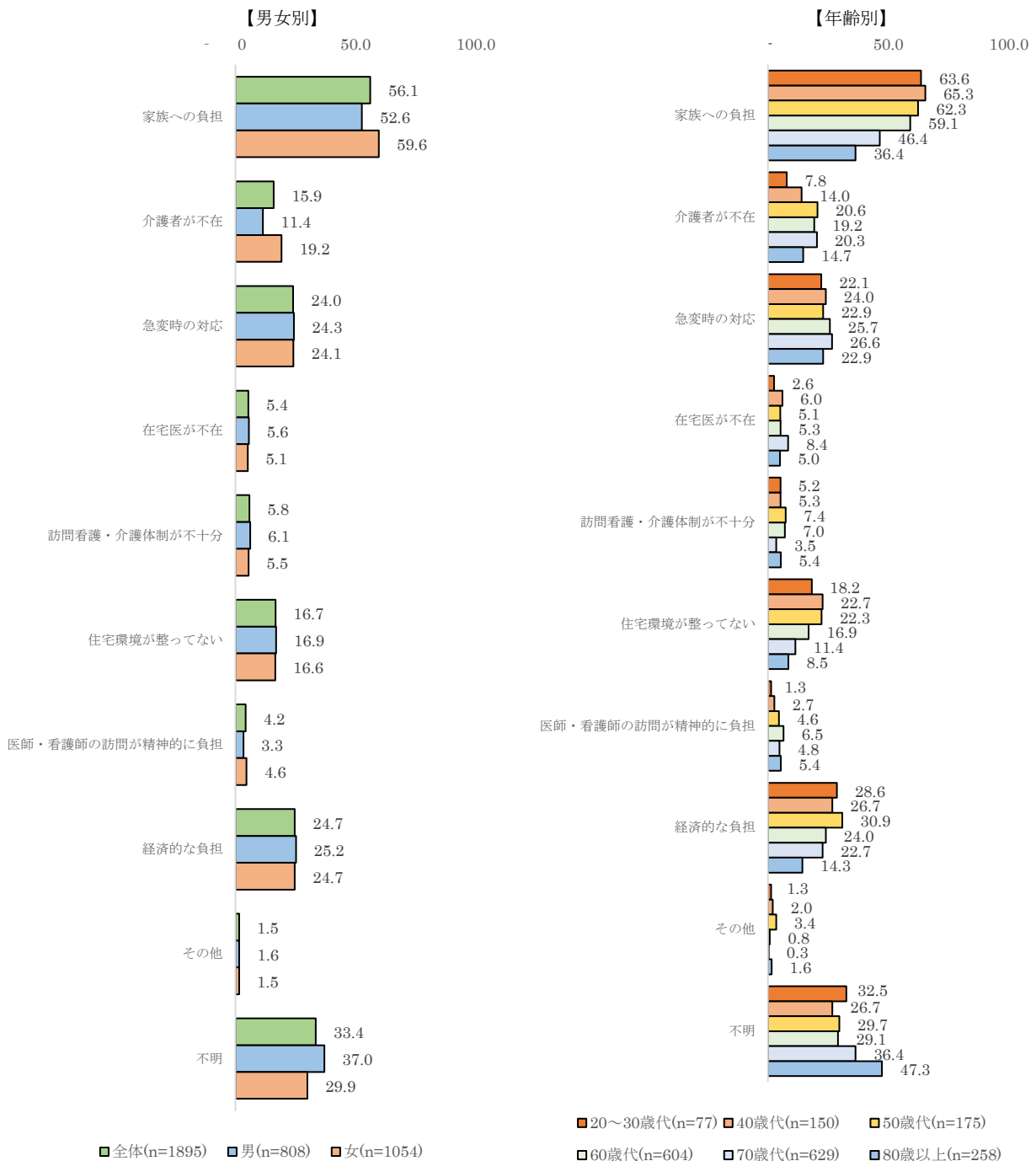
寝たきり状態における在宅医療の希望を全体で見ると、「希望するし、実現可能だと思う」、「希望するが、実現は難しいと思う」と回答した割合は48.4%となった。この中で、「希望するが、実現は難しいと思う」と回答した割合が各世代とも最も高い結果となった。一方、各世代とも約2～3割が「希望しない」と回答した結果となった。



(26) -①在宅医療を実現できない・希望しない理由(性別・年齢)

問2-1 実現が難しい又は在宅医療を希望しないと思う理由は何ですか(MA:該当するもの全てに○)

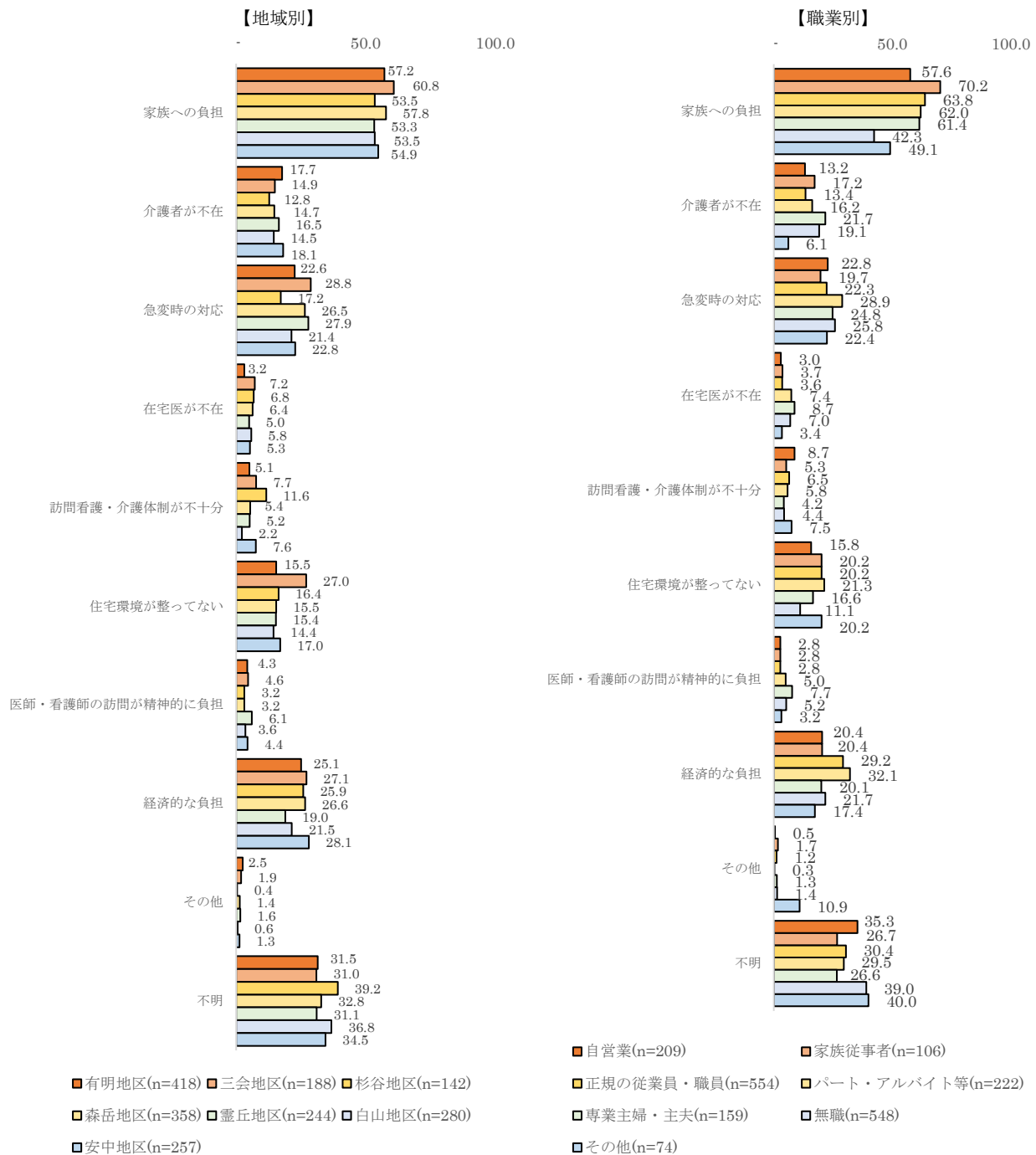
問2-0において、「希望するが、実現は難しいと思う」、「希望しない」と回答した者に対して、在宅医療を実現できない・希望しない理由を質問した。「20～30歳代」から「50歳代」において「家族への負担」、「経済的な負担」は高い傾向にあるが、「60歳代」から年齢を重ねるにつれてこれらの理由は減少傾向にあった。



(26) -②在宅医療を実現できない・希望しない理由(居住地域・職業)

問21 実現が難しい又は在宅医療を希望しないと思う理由は何ですか(MA:該当するもの全てに○)

問20において、「希望するが、実現は難しいと思う」、「希望しない」と回答した者に対して、在宅医療を実現できない・希望しない理由を質問した。居住地域・職業別に大きな特徴は見られないが、全体の傾向として、「家族への負担」、「経済的な負担」、「急変時の対応」、「住宅環境が整っていない」に集中している傾向にあった。

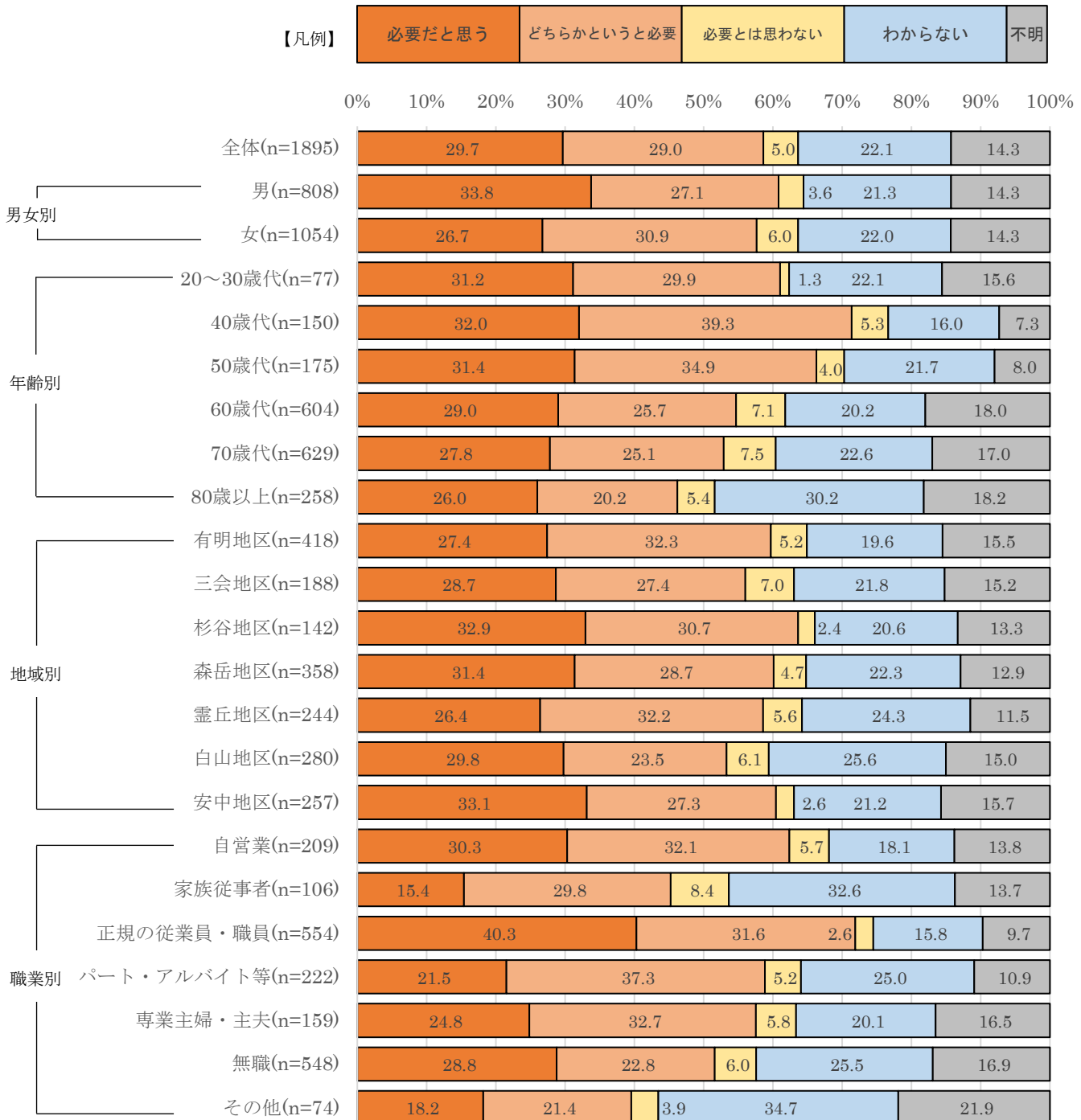


(27) 在宅医療の充実

問22 あなたは、「在宅医療」を充実することが必要だと思いますか (SA)

在宅医療の充実を全体で見ると、「必要だと思う」、「どちらかという必要」と回答した割合は58.7%となった。

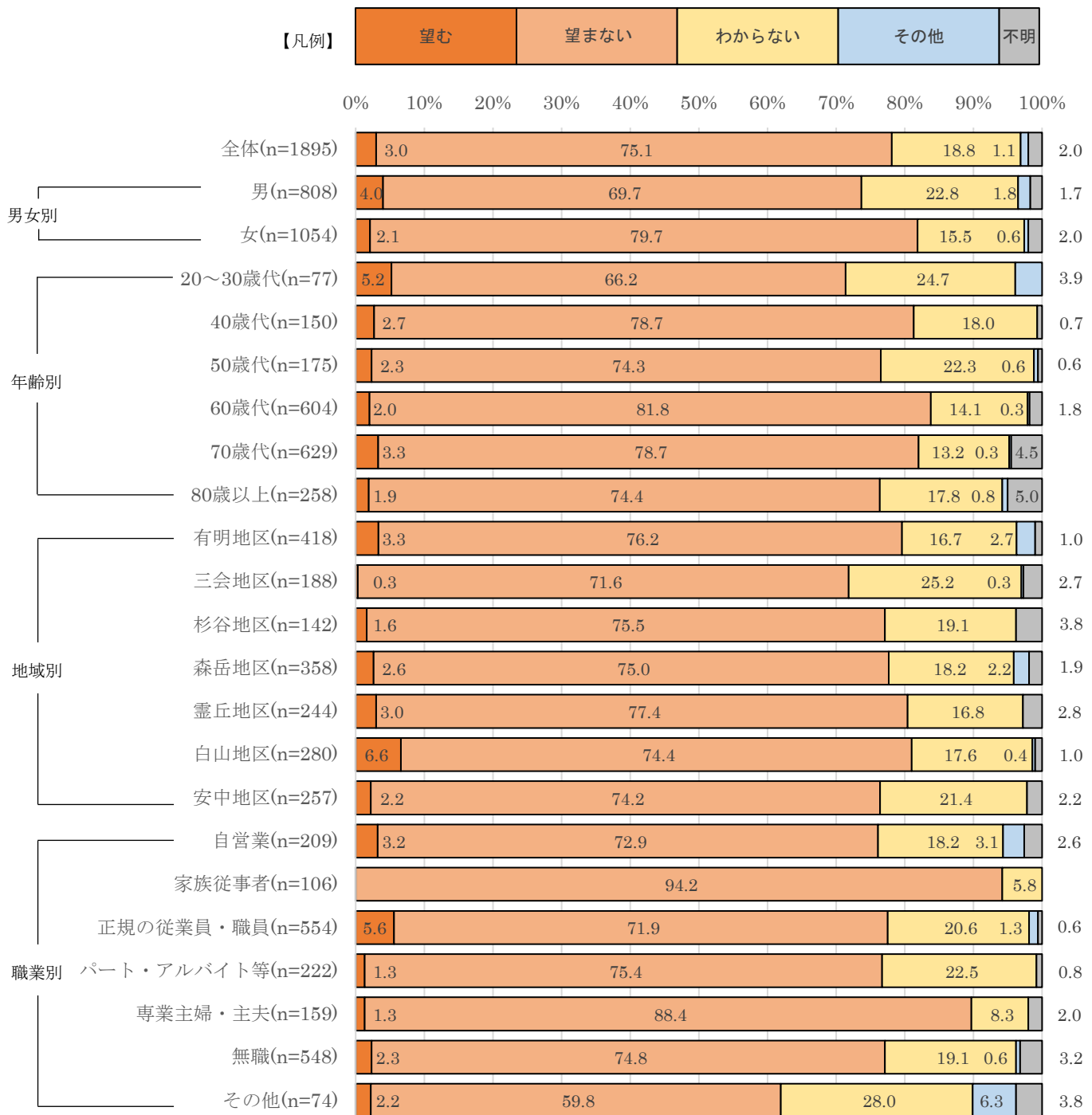
属性別に見ると男女別では「男性」、年齢別では「40歳以上」、職業別では「正規の従業員・職員」が最も高い割合となった。各世代において「必要とは思わない」と回答した割合が最も低い結果となった。



(28) 終末期における延命治療の希望

問23 あなたは終末期（治る見込みがなく死期が迫っている）に延命治療を望みますか（SA）

終末期における延命治療の希望を全体で見ると、「望まない」と回答した割合は最も高く 75.1% を占めた。一方、延命治療を「望む」と回答した割合は 3% と低かった。「わからない」と回答する割合が 18.8% を占める結果となった。

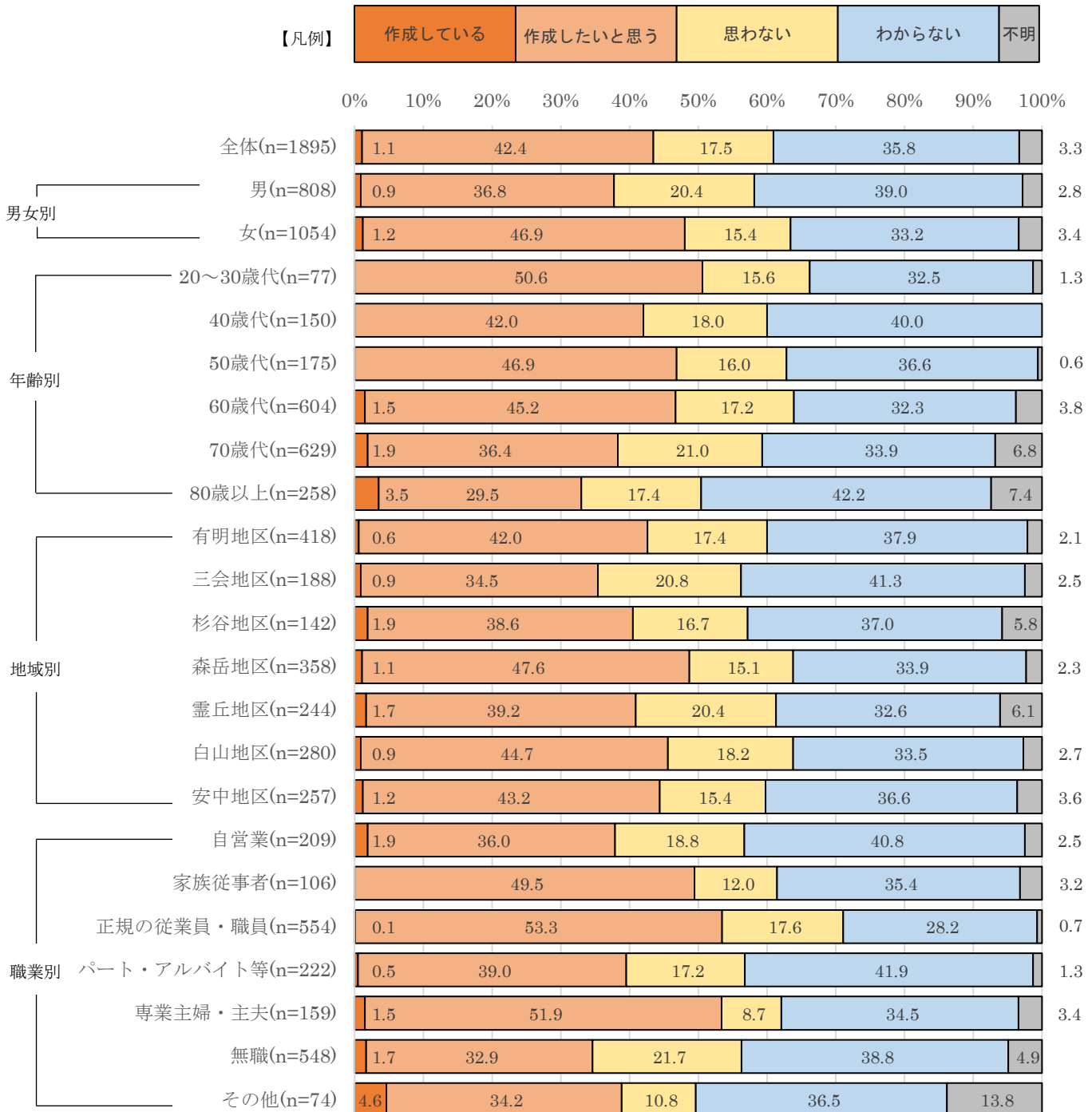


(29) 終活ノートの作成

問24 将来、あなた自身に万が一のことが起きたときに備えて、どのような治療やケアを受けたいのかを伝える書面（終活ノート）を作成しておきたいと思いますか（SA）

終活ノートの作成を全体で見ると、「作成している」「作成したいと思う」と回答した割合は43.5%となった。終活ノートを「作成したいと思う」と回答した割合は約半数を占めたが、実際に「作成している」割合は低い結果となった。

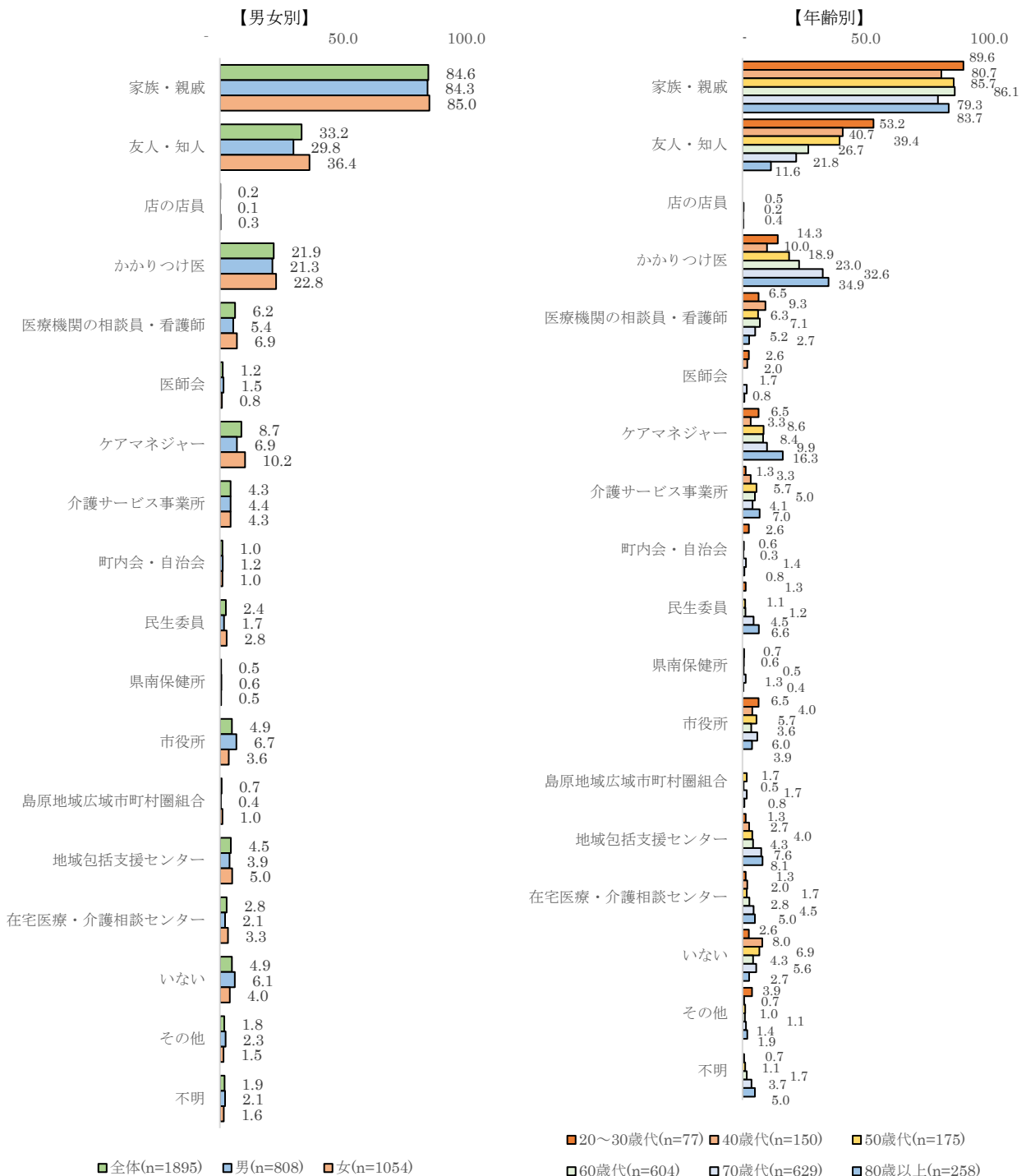
年齢別に見ると、「50歳代」までに「作成している」の回答はなく、「60歳代」から「作成している」と回答した割合が微増傾向にあった。



(30) -①医療や介護における身近な相談相手の有無(性別・年齢)

問25 家族や自分が病気をしたり介護が必要になった時に、悩みや不安を相談できる相手はいますか
(MA:該当するもの全てに○)

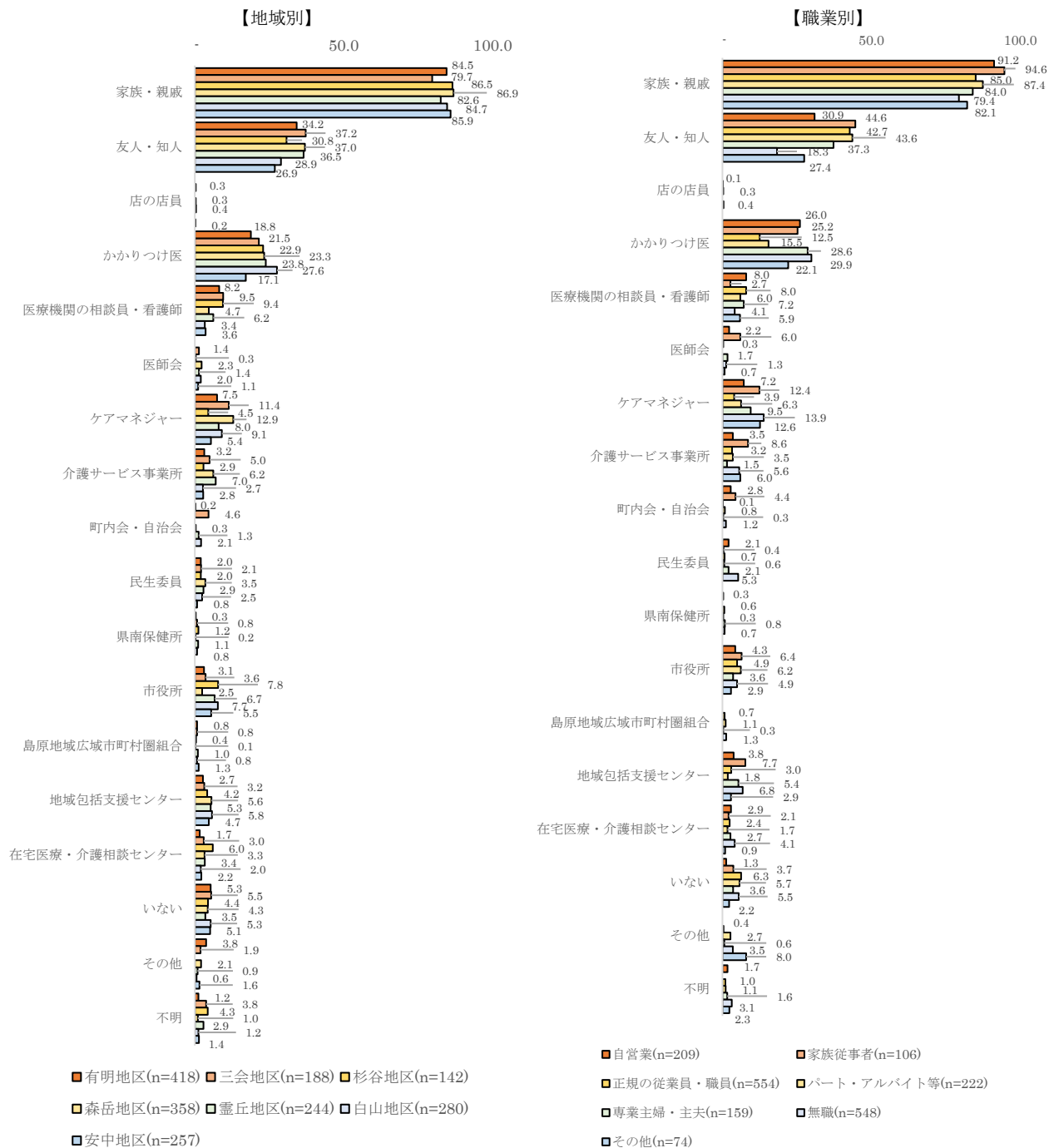
医療や介護における身近な相談相手の有無を全体で見ると、「家族・親戚」が84.6%で最も多く、次いで「友人・知人」(33.2%)「かかりつけ医」(21.9%)、に集中している結果となった。
年齢を重ねるにつれて、「かかりつけ医」、「ケアマネジャー」の割合が増加傾向にあった。



(30) -②医療や介護における身近な相談相手の有無（居住地域・職業）

問25 家族や自分が病気をしたり介護が必要になった時に、悩みや不安を相談できる相手はいますか
(MA：該当するもの全てに○)

医療や介護における身近な相談相手の有無を居住地域・職業別に見ると、全体と比較して大きな特徴は見られず、「家族・親戚」、「友人・知人」、「かかりつけ医」、に集中している傾向にあった。

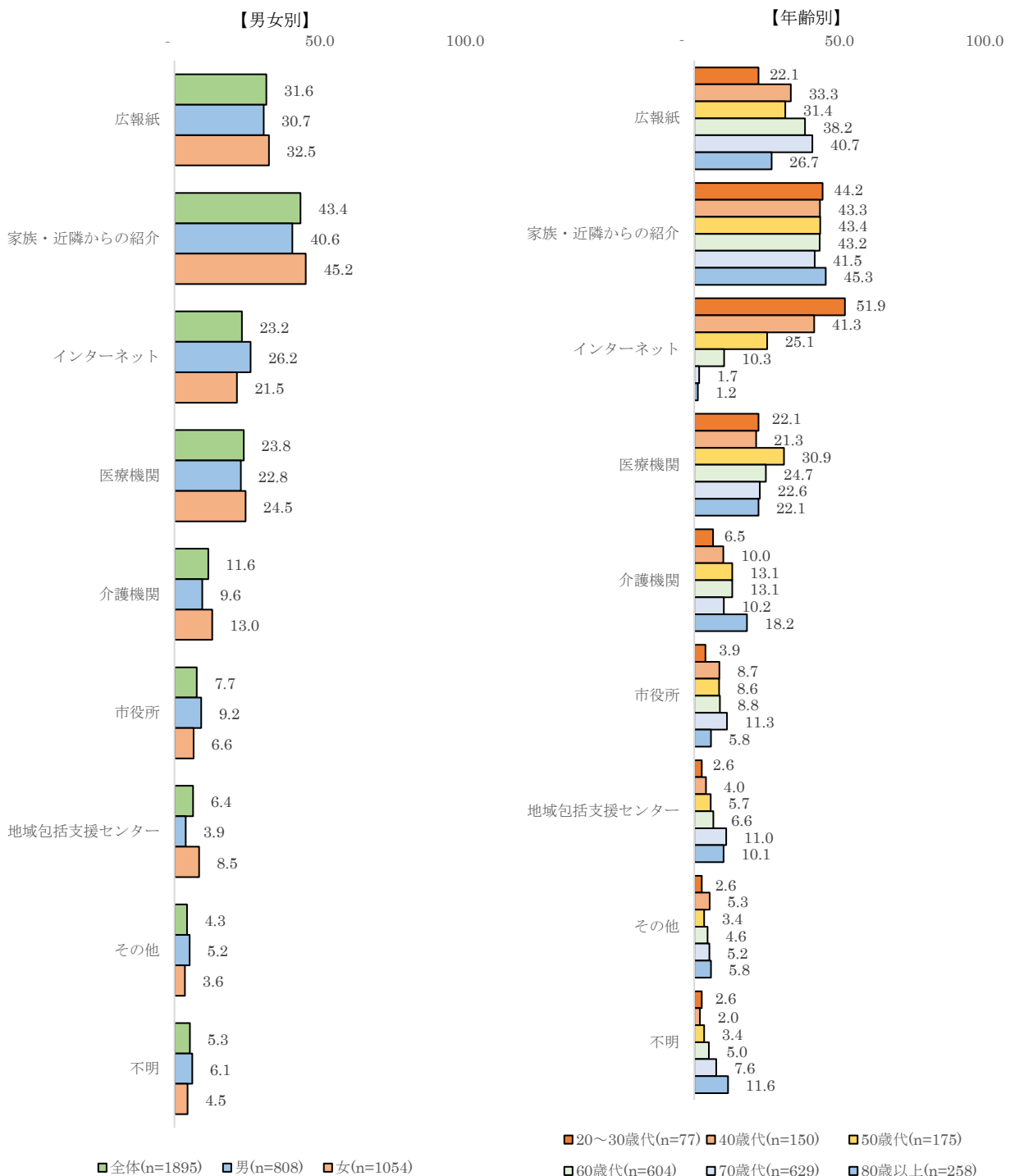


(31) -①医療や介護における情報収集の方法 (性別・年齢)

問26 あなたは、医療・介護に関する必要な情報をどのように入手していますか
(MA: 主なものを2つまで○)

医療や介護における情報収集の方法を全体で見ると、「家族・近隣からの紹介」が43.4%で最も高く、次いで「広報紙」(31.6%)、「医療機関」(23.8%)となっている。

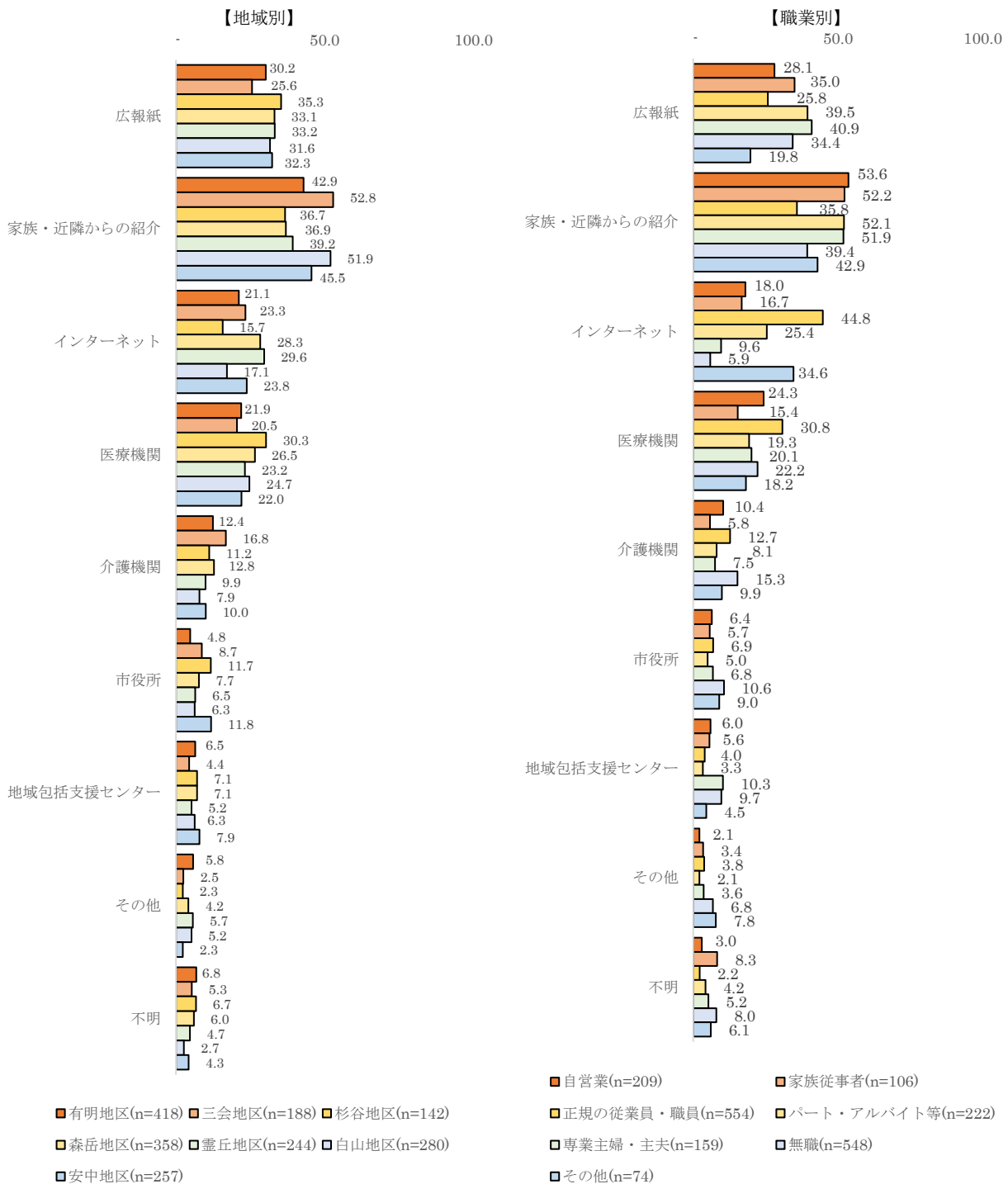
若い世代(20～30歳代、40歳代)では「インターネット」を用いて情報収集する傾向にあった。



(31) -②医療や介護における情報収集の方法 (居住地域・職業)

問26 あなたは、医療・介護に関する必要な情報をどのように入手していますか
(MA: 主なものを2つまで○)

医療や介護における情報収集の方法を居住地域で見ると、「家族・近隣からの紹介」、「広報紙」、「インターネット」、「医療機関」に集中している結果となった。職業別で見ると、「正規の従業員・職員」は「インターネット」を用いて情報収集する傾向にあった。

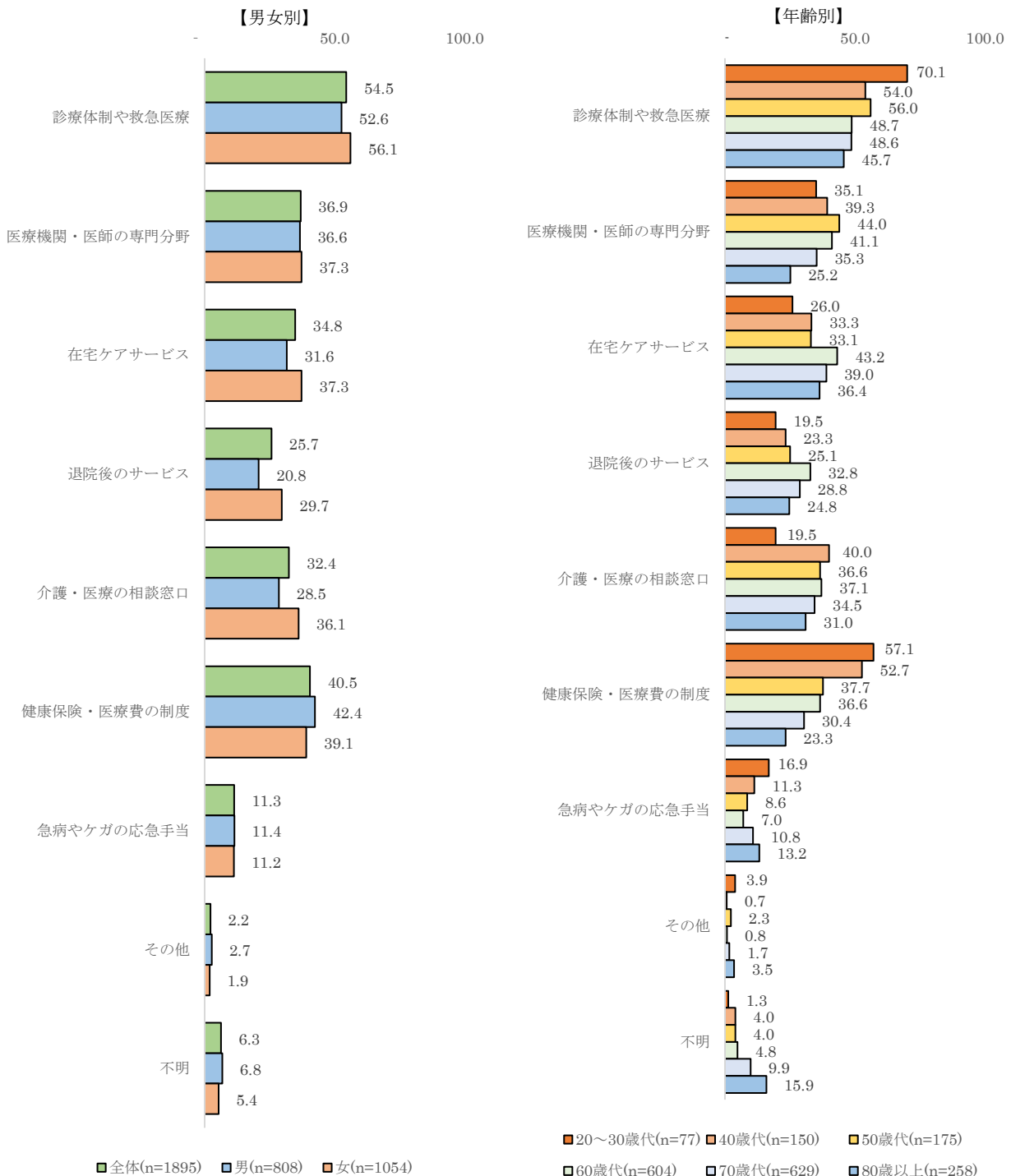


(32) -①医療や介護における必要な情報(性別・年齢)

問27 あなたにとって医療や介護について必要な情報は何か(MA:3つまで○)

医療や介護における必要な情報を全体で見ると、「診療体制や救急医療」が54.5%で最も高く、次いで「健康保険・医療費の制度」(40.5%)、「医療機関・医師の専門性」(36.9%)となった。

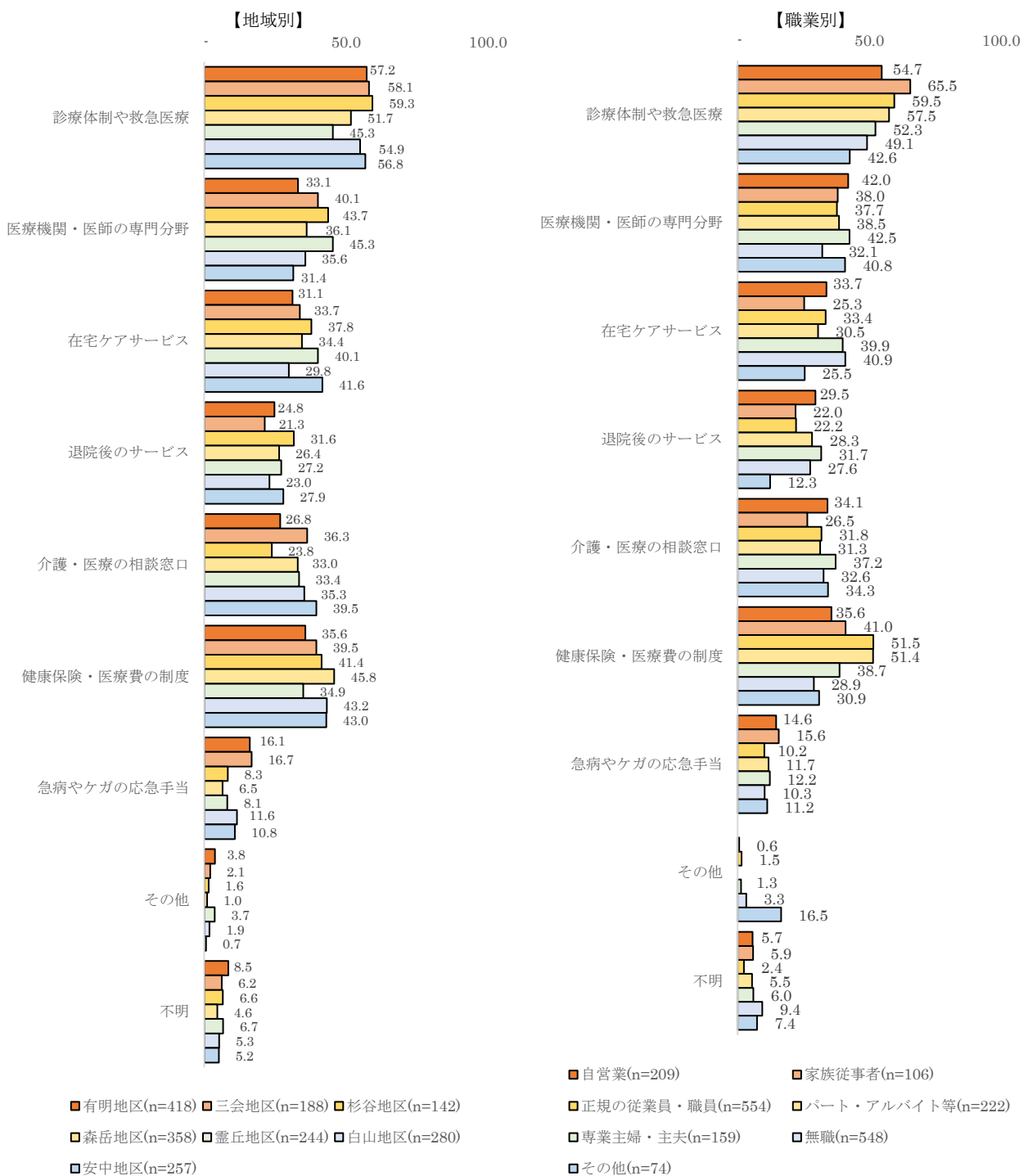
若い世代(20～30歳代、30歳代)は「診療体制や救急医療」、「健康保険・医療費の制度」に関して特に高い傾向にあった。



(32) -②医療や介護における必要な情報(居住地・職業)

問27 あなたにとって医療や介護について必要な情報は何ですか(MA:3つまで○)

医療や介護における必要な情報を職業別で見ると、「健康保険・医療費の制度」において「正規の従業員・職員」や「パート・アルバイト等」が他に比べ高い傾向が見られた。また、「在宅ケアサービス」では「無職」や「専業主婦・主婦」が他に比べ高くなっている。



(33) -①在宅医療・介護に関する意見(要望)

問28 在宅医療・介護に関して、あなたが思うことがあれば、ご自由に記入ください(FA)

在宅医療・介護に関する自由記述を分類すると、以下のとおりになった。

項目		意見(抜粋)	
要望 (185件)	情報提供について(98件)	サービス・制度内容(23件)	在宅医療・介護についての情報を詳しく知らせてほしい／訪問介護について、もっと知りたい／訪問診療や看護などの、在宅ケアサービスについての情報が知りたい／など
		相談窓口(20件)	警察ならば110番救急ならば119番というように、在宅医療・介護に関しては〇〇番にかけると知りたい情報がすぐわかるような情報入手の窓口がほしい／気軽に相談できるところがほしい／など
		広報紙等(16件)	広報紙等で時々(定期的に)情報を発信してほしい／島原市が取り組んでいる在宅医療の状況を市の広報紙で詳しく説明してほしい／在宅医療・介護に関する広報活動のためのPRできるDVDがほしい／など
		医療機関・介護施設(11件)	在宅医療をしている医療機関が分からないので、表などにしてまとめてほしい／リハビリの専門がある病院の一覧が欲しい／どの病院の先生が往診診療をしているのかわからない／など
		費用・補助制度(10件)	医療費の補助の仕方がわからない／市内の在宅医療又は介護に対して月どのくらい費用がかかるか知りたい／介護のために家のリフォームを行う場合の費用が知りたい／など
		説明会・勉強会等(9件)	老人会の集会等に合わせ医療・介護に関する具体的な話をしてほしい／定期的に各公民館等で、在宅医療や介護について具体的な説明会をしてほしい／など
		その他(9件)	情報を積極的に入手しないといけないと感じている／家の中でもできる運動を教えてほしい／介護に際しての心の支え方を教えてほしい／など
	医療・介護体制について(63件)	施設の増設・充実(16件)	24h体制の定期巡回、随時対応型訪問介護・看護の事業所を増やしてほしい／夕食を食べさせてくれるデイサービスを増やしてほしい／誰でも安い価格で入れる施設を作してほしい／など
		職員の対応(10件)	介護者によって、仕事に対する熱意や能力に差がある／事務的、義務的な訪問ではなく患者の話によく耳を傾けてくれる方が多くいることを望みます。／やさしい態度で接していただきたい。／など
		サービスの充実(6件)	年代別に色々な介護のサービスを受けたい／健康な人でももっと健康でいられるようなサービスを提供してほしい／心に余裕が持てるサービスを期待したい／など
		職員の待遇改善(6件)	介護に関わる人については大変な仕事であるので、人件費(給与)などは、それなりに対応すべきであると思う／介護に関わる人のケアもあったらいいと思う／など
		人員不足の解消(5件)	医者不足を解消できなければ、全ての医療が成り立たない／介護施設においても職員不足を施設長さんは苦慮されているため、職員不足を解消できる取組を希望する／など
		地域内支援の必要性(5件)	1人暮らしの方への地域における見守り支援の体制作りも必要／地域の中でお互いの見守り活動ができればと思う／老人は老人で協力できればいいと思う／など
		その他(15件)	医院や診療所にも介護に関する相談が気軽にできたらと思う／今後医療機関や様々なケアサービスを受ける時に、自分や家族が幸せに思える療養生活を送りたい／など
		費用について(8件)	バリアフリー等のリフォームをしたいので補助をお願いしたい／介護保険の金額を、もう少し支払いに困らない金額にして欲しい／介護タクシーの料金を安くしてほしい／など
	介護者の負担軽減について(8件)	介護をする家族の精神的・肉体的・経済的負担を軽くする取り組みをして欲しい／今後、老老介護の状況が増えると思われるので介護者の精神的負担を出来るだけ軽減してほしい／など	
	行政に対して(6件)	介護保険の申請から判定までの期間を短縮することを望む／高齢になっても安心して暮らせる島原市にしてほしい／老人も含めて、弱者に対して優しい行政であって欲しい／など	
	その他(2件)	車イスでも出かけたい／気分転換したい	

(33) -②在宅医療・介護に関する意見(不安・不満・現状・満足・その他)

問28 在宅医療・介護に関して、あなたが思うことがあれば、ご自由に記入ください(FA)

在宅医療・介護に関する自由記述を分類すると、以下のとおりになった。

項目			意見（抜粋）
不安 (53件)	費用について(24件)		在宅医療・介護に対して、経済的な費用に対する不安が大きい／年金が少ないのが心配／今後の医療・介護で、経済的な負担が増えた場合の対応に不安を感じる／など
	在宅医療・介護について(7件)		可能な限り在宅を望むが、どこまで可能なのかわからない／自宅にいることは良いことですが、急に具合が悪くなった時の対応や家族だけで介護できるのか、心配でなりません／など
	一人暮らしであることについて(7件)		独居の場合、自ら急変の連絡がとれないのが現状 死後に発見が恐ろしい／現在一人暮らしで、介護が必要になったら困ると思う／など
	施設の受け入れ体制について(5件)		老老介護になるのは目に見える状態である島原の在宅医療や介護が充実しているのか不安／最近職員による事件やいじめが問題になってる施設が多いので、入所に対しての不安がある／など
	仕事と介護の両立について(2件)		義母と主人と3人で暮しているけど、仕事をしながら介護は難しい／自分が年齢を重ねたら、介護してくれる人がいないので不安
	その他(8件)		交通が不便なため、在宅では買物等に困ってしまう／病院や施設で死を迎えるのは、本来望んでいないだろうが、現実にはそうせざるを得ない状況にあるのではないかなど
不満 (27件)	医療・介護体制について(14件)	職員の対応(6件)	医師の方に心から寄り添った対応をして欲しい／介護者も様々で、熱心な方もいれば、プロ意識が低い方もいます／医療、介護に関わる方々の中には、言葉使いがため口で不愉快に感じるがあった／など
		施設の不足(5件)	特別介護ホームに申し込んでも入所が出来ず何年も待たなければならない／訪問診療してくれる医師が少ない／など
		その他(3件)	夜中、急に体調をくずした時、すぐ診てもらえず何件も電話しても診てもらえず苦労した／など
	行政に対して(7件)		地域包括支援センターは、市の直営にするなど地域保健や介護に精通した職種を配置して欲しい／手続き等が煩雑、書類がわかりにくい／など
	費用について(6件)		年金生活者については健康保険料・介護保険料が高すぎる／介護保険料が大きいのに、年金は少ししかもらえない／など
	現状 (19件)	在宅医療・介護の困難性について(15件)	
その他(4件)		医療も介護も、結局は人と人の関わりであるので、良い人間関係をいかにして築けることができるかが、最も大事／など	
満足 (12件)	満足する内容について(12件)		在宅医療・介護等いきといており幸せです／かかりつけ医にも不安なことを何でもすぐに相談している／市役所で相談した時に、忙しい中でも親切な対応だった。親が介護施設に入所しているが、常によく見てもらっている／など
その他 (52件)	わからない(34件)		現在は、在宅医療・介護に携わる事がないので具体的な事は分からない／在宅医療、介護については何もわかりません／など
	その他(18件)		アンケート調査票を送って頂き、自分も介護について考えることができた／国の介護制度も進んでいると思う反面、膨らむ税負担を次世代へは与えたくない／など